

別 冊

(2) アンケート調査結果

平成 2 2 年 9 月 2 1 日

7 . 1 5 豪雨災害検証委員会

もくじ

避難勧告等調査及び避難行動実態調査結果	1
（住民対象調査）	
避難勧告等に対する住民の避難行動に関するアンケート調査結果	12
（市町村対象調査）	
避難勧告等伝達マニュアルに基づく 避難勧告等の発令に関するアンケート調査結果	15
（市町村対象調査）	
可児川洪水ハザードマップに関するアンケート調査結果	23
（住民対象調査）	
洪水ハザードマップに関するアンケート調査結果	26
（市町村対象調査）	
砂防ハザードマップに関するアンケート調査結果	29
（市町村対象調査）	
山地災害対策についてのアンケート調査結果	32
（市町村対象調査）	

避難勧告等調査及び避難行動実態調査結果 (住民対象調査)

1 調査概要

避難勧告等調査

(1) 調査期間	平成22年8月 5日～8月 8日(八百津町自治会長・野上地区住民) 平成22年8月10日～8月12日(可児市自治会長)		
(2) 調査対象	・八百津町の自治会長	79人	
	・八百津町野上地区の住民	30人	
	・可児市の自治会長	136人	
(3) 調査方法	自治会長・住民に調査票を配布して実施		
(4) 回収状況	165人/245人	回収率	67.3%

避難行動実態調査

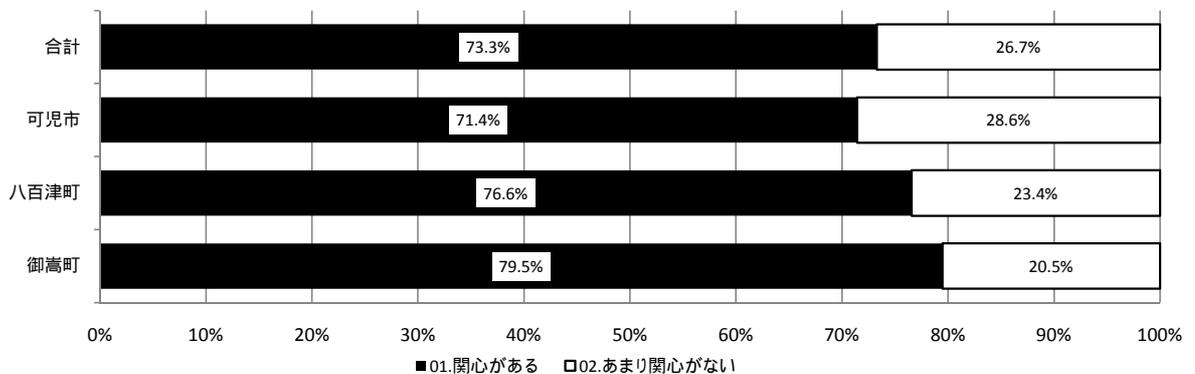
(1) 調査期間	平成22年8月13日～8月20日		
(2) 調査対象	・可児市広見地区の住民	550人	
	・八百津町八百津地区・そま沢地区の住民	48人	
	・御嵩町美佐野地区の住民	66人	
(3) 調査方法	住民に調査票を配布して実施		
(4) 回収状況	360人/664人	回収率	55.7%

2 集計結果

- 1 あなたは、従来から、水害や土砂災害に関心をお持ちですか。
【避難勧告等調査・避難行動実態調査】

	合計		可児市		八百津町		御嵩町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.関心がある	384	73.3%	255	71.4%	98	76.6%	31	79.5%
02.あまり関心がない	140	26.7%	102	28.6%	30	23.4%	8	20.5%

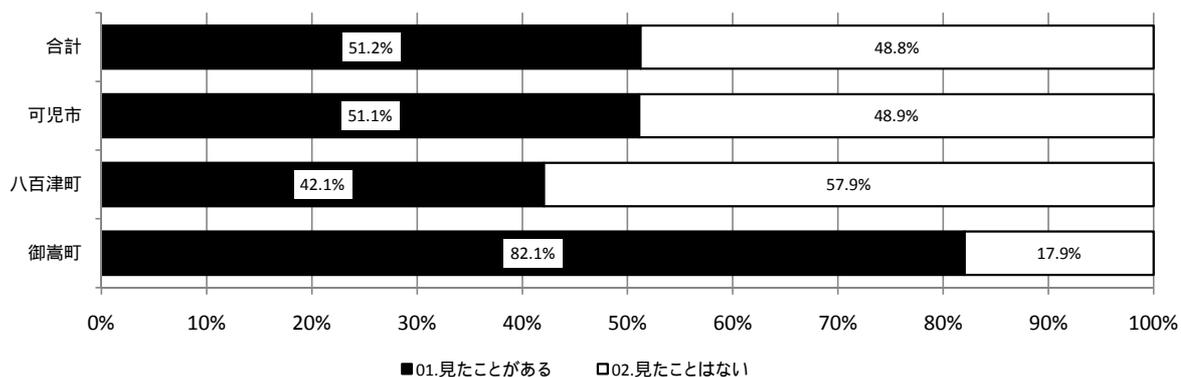
(無効回答 1)



2 あなたは、砂防ハザードマップや洪水ハザードマップを見たことがありますか。
【避難勧告等調査・避難行動実態調査】

	合計		可児市		八百津町		御嵩町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.見たことがある	268	51.2%	183	51.1%	53	42.1%	32	82.1%
02.見たことはない	255	48.8%	175	48.9%	73	57.9%	7	17.9%

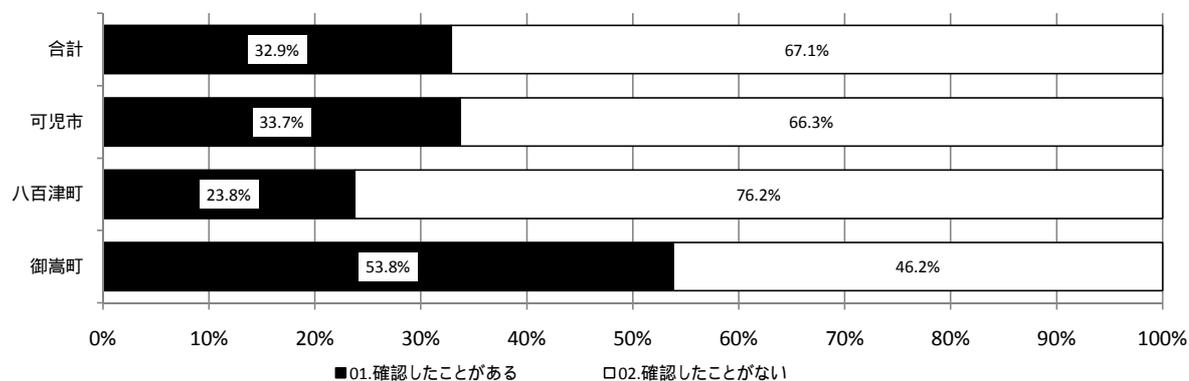
(無効回答 2)



3 あなたは、砂防ハザードマップや洪水ハザードマップを利用して、自分の住んでいるところ又は周辺地域の状況を確認したことがありますか。
【避難勧告等調査・避難行動実態調査】

	合計		可児市		八百津町		御嵩町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.確認したことがある	170	32.9%	120	33.7%	29	23.8%	21	53.8%
02.確認したことがない	347	67.1%	236	66.3%	93	76.2%	18	46.2%

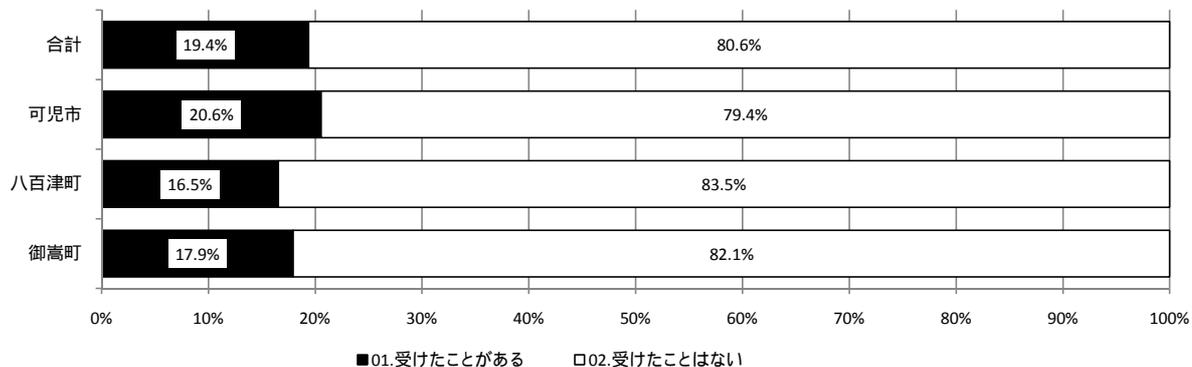
(無効回答 8)



4 避難情報、避難勧告等について役場等から説明を受けたことがありますか。
【避難勧告等調査・避難行動実態調査】

	合計		可児市		八百津町		御嵩町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.受けたことがある	101	19.4%	73	20.6%	21	16.5%	7	17.9%
02.受けたことはない	420	80.6%	282	79.4%	106	83.5%	32	82.1%

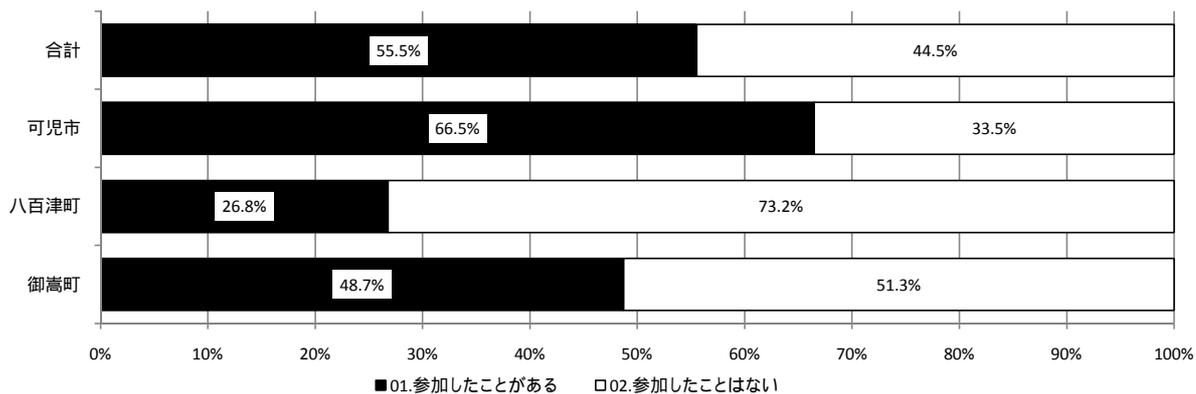
(無効回答 4)



5 あなたは、防災訓練(避難訓練)に参加したことがありますか。
【避難勧告等調査・避難行動実態調査】

	合計		可児市		八百津町		御嵩町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.参加したことがある	291	55.5%	238	66.5%	34	26.8%	19	48.7%
02.参加したことはない	233	44.5%	120	33.5%	93	73.2%	20	51.3%

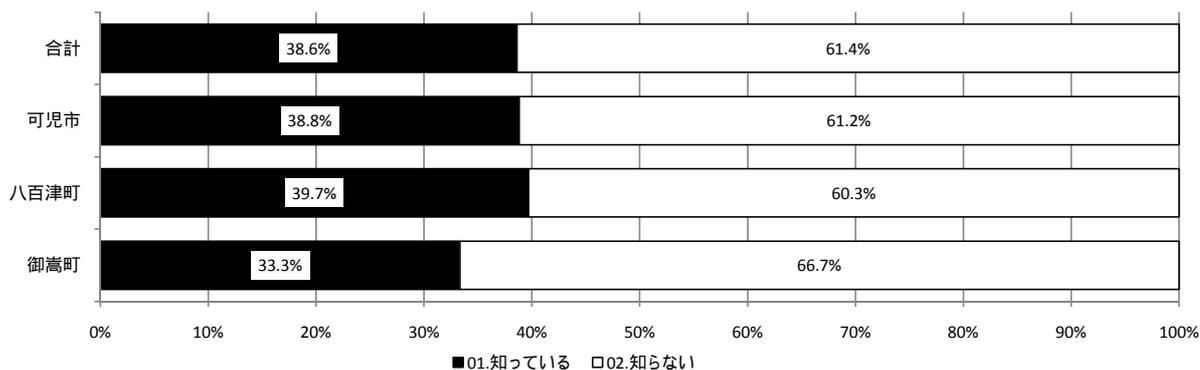
(無効回答 1)



- 6 あなたは、市や町から発令される避難勧告、避難指示がどのようなものであるか(強制力があるのか、どのようなときに発令されるのかなど)知っていますか。
【避難勧告等調査・避難行動実態調査】

	合計		可児市		八百津町		御嵩町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.知っている	202	38.6%	139	38.8%	50	39.7%	13	33.3%
02.知らない	321	61.4%	219	61.2%	76	60.3%	26	66.7%

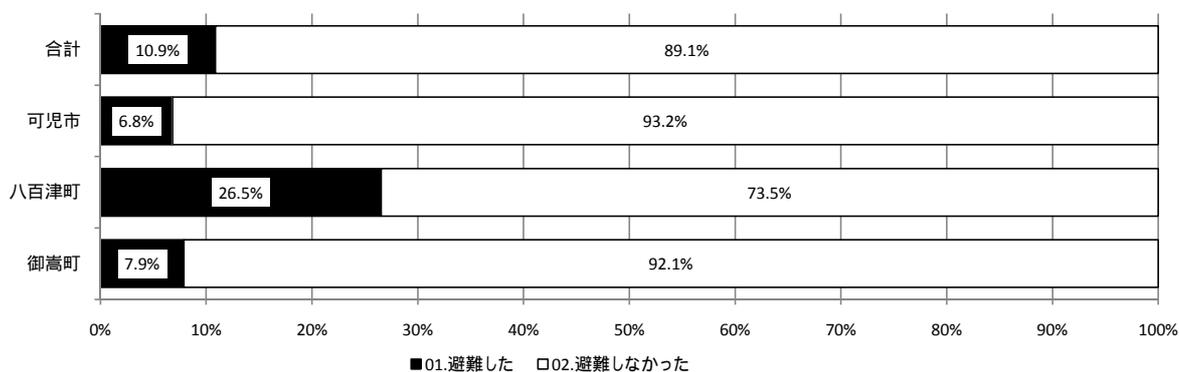
(無効回答 2)



- 7 あなたは(あなたの家では)、避難勧告や避難指示が発令され、避難をしましたか。
【避難勧告等調査・避難行動実態調査】

	合計		可児市		八百津町		御嵩町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.避難した	53	10.9%	24	6.8%	26	26.5%	3	7.9%
02.避難しなかった	435	89.1%	328	93.2%	72	73.5%	35	92.1%

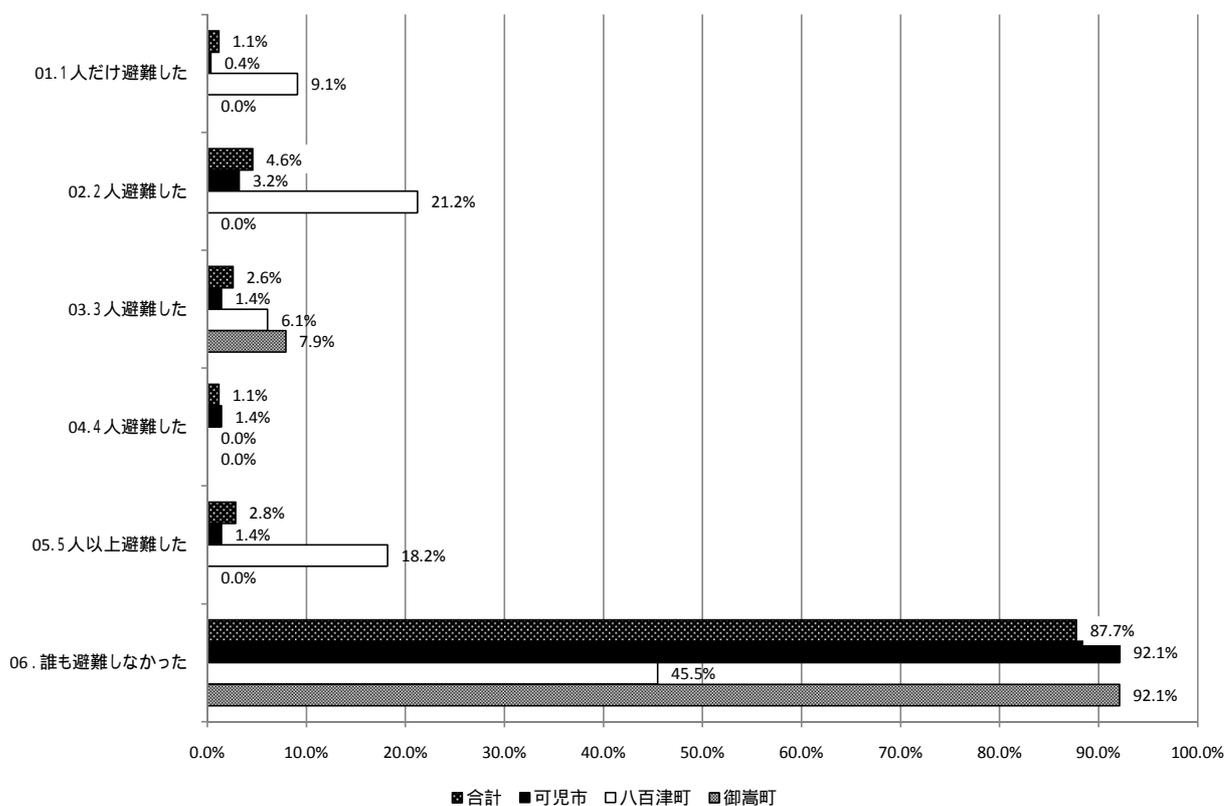
(無効回答 37)



8 あなたの家では、7月15日の豪雨災害で、避難をしましたか。
 【避難行動実態調査】

	計		可児市		八百津町		御嵩町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.1人だけ避難した	4	1.1%	1	0.4%	3	9.1%	0	0.0%
02.2人避難した	16	4.6%	9	3.2%	7	21.2%	0	0.0%
03.3人避難した	9	2.6%	4	1.4%	2	6.1%	3	7.9%
04.4人避難した	4	1.1%	4	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
05.5人以上避難した	10	2.8%	4	1.4%	6	18.2%	0	0.0%
06.誰も避難しなかった	308	87.7%	258	92.1%	15	45.5%	35	92.1%

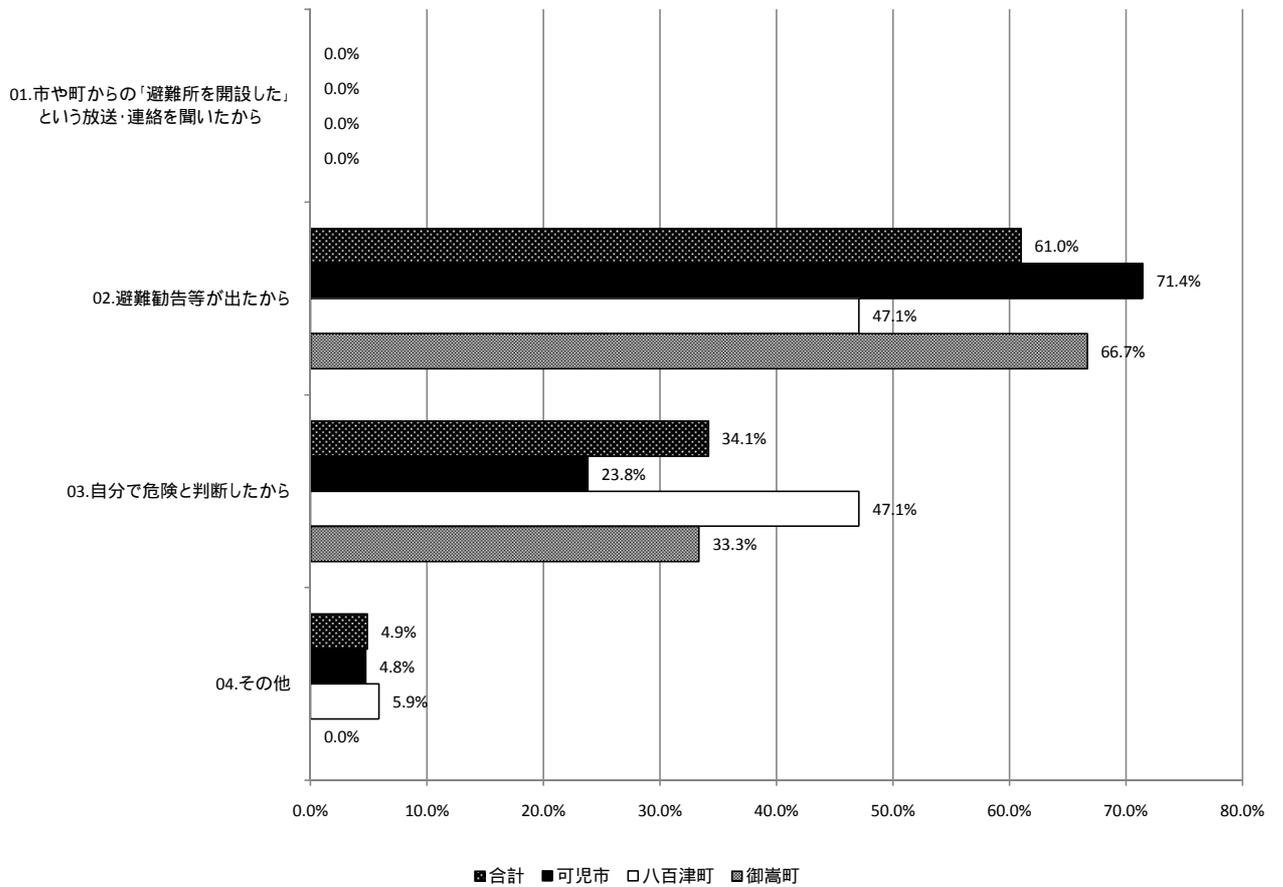
(無効回答 9)



9 あなたは、なぜ避難をしましたか。
【避難行動実態調査】

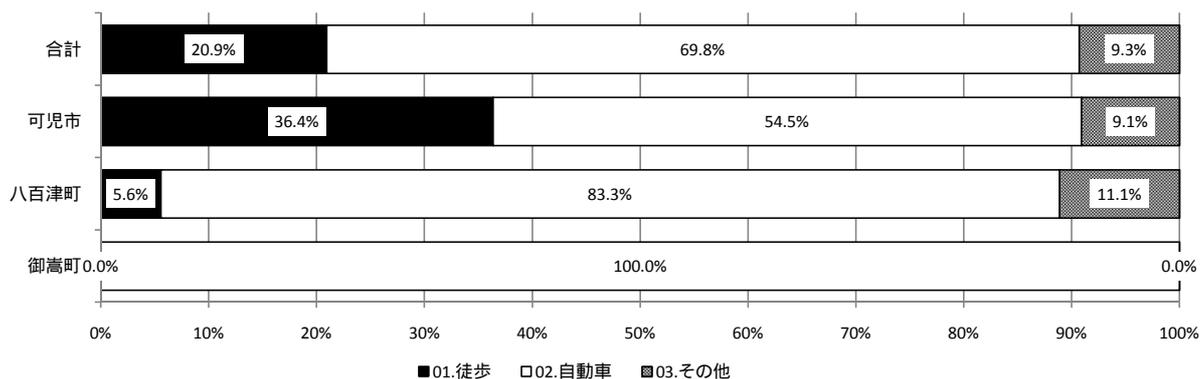
	計		可児市		八百津町		御嵩町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.市や町からの「避難所を開設した」という放送・連絡を聞いたから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
02.避難勧告等が出たから	25	61.0%	15	71.4%	8	47.1%	2	66.7%
03.自分で危険と判断したから	14	34.1%	5	23.8%	8	47.1%	1	33.3%
04.その他	2	4.9%	1	4.8%	1	5.9%	0	0.0%

(無効回答 2)



10 あなたは、どのような方法で避難しましたか。
【避難行動実態調査】

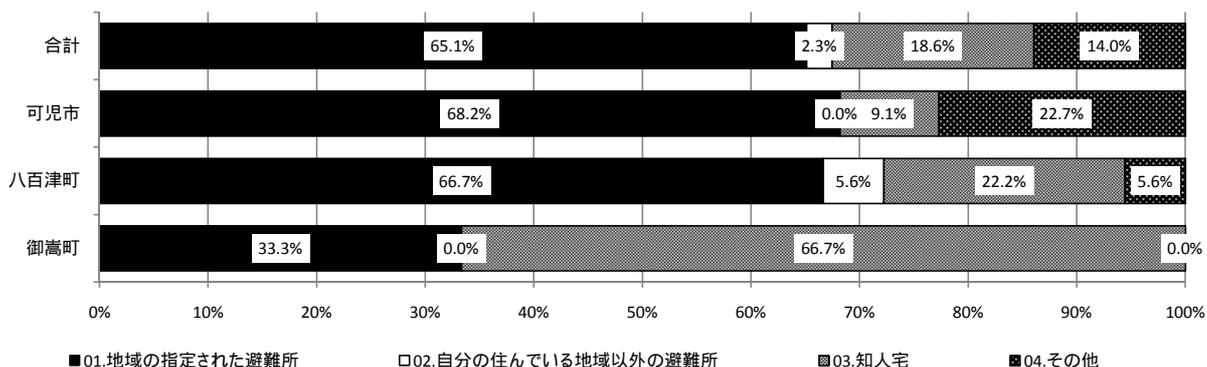
	計		可児市		八百津町		御嵩町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.徒歩	9	20.9%	8	36.4%	1	5.6%	0	0.0%
02.自動車	30	69.8%	12	54.5%	15	83.3%	3	100.0%
03.その他	4	9.3%	2	9.1%	2	11.1%	0	0.0%



11 あなたは、どこに避難しましたか。
【避難行動実態調査】

	計		可児市		八百津町		御嵩町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.地域の指定された避難所	28	65.1%	15	68.2%	12	66.7%	1	33.3%
02.自分の住んでいる地域以外の避難所	1	2.3%	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%
03.知人宅	8	18.6%	2	9.1%	4	22.2%	2	66.7%
04.その他	6	14.0%	5	22.7%	1	5.6%	0	0.0%

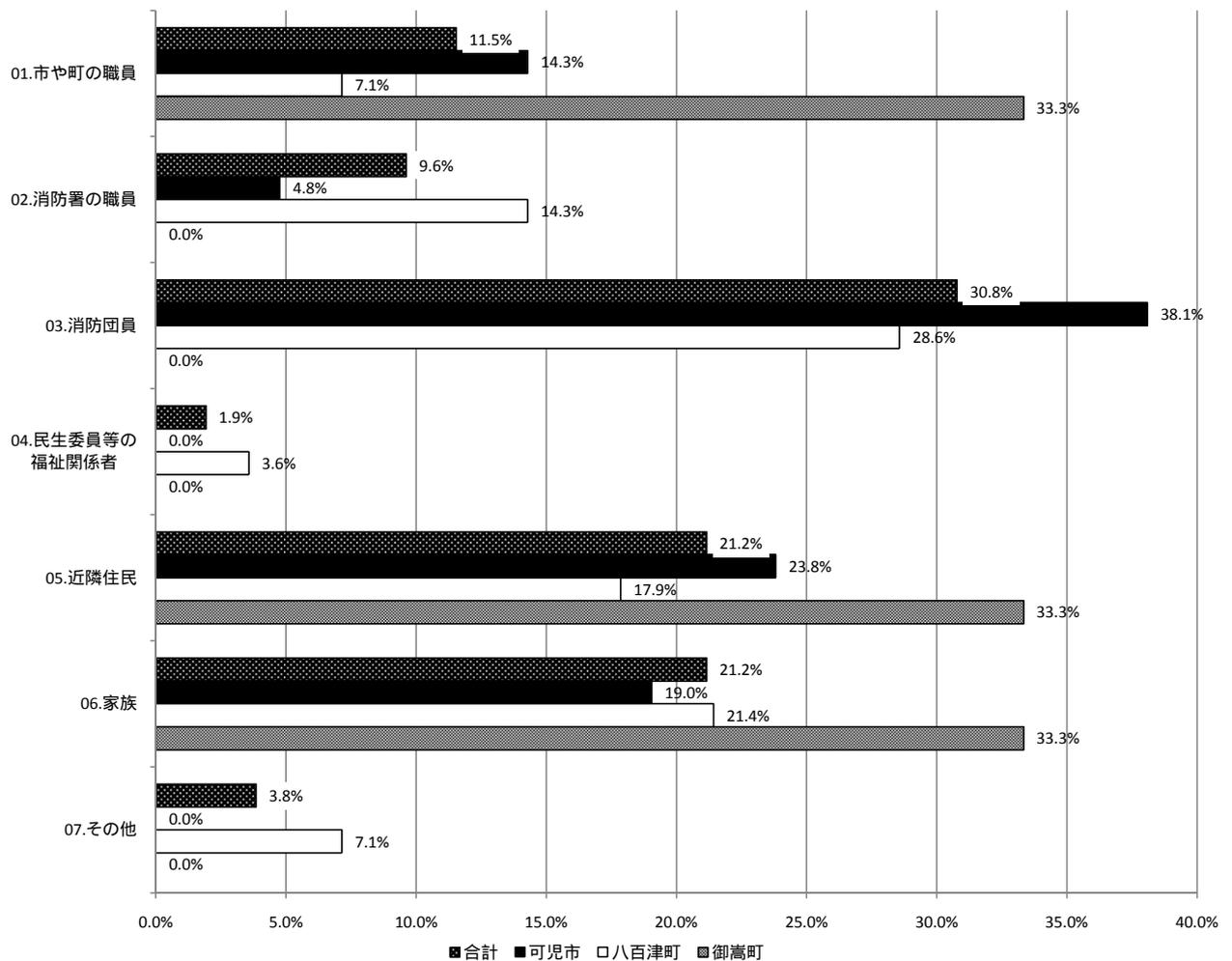
「その他」の主な回答	
・自宅の2階や家の中での移動	2
・自分の家より高い空き地	1



12 避難する際、支援してくれた人や組織はありましたか。
【避難行動実態調査】

	計		可児市		八百津町		御嵩町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.市や町の職員	6	11.5%	3	14.3%	2	7.1%	1	33.3%
02.消防署の職員	5	9.6%	1	4.8%	4	14.3%	0	0.0%
03.消防団員	16	30.8%	8	38.1%	8	28.6%	0	0.0%
04.民生委員等の福祉関係者	1	1.9%	0	0.0%	1	3.6%	0	0.0%
05.近隣住民	11	21.2%	5	23.8%	5	17.9%	1	33.3%
06.家族	11	21.2%	4	19.0%	6	21.4%	1	33.3%
07.その他	2	3.8%	0	0.0%	2	7.1%	0	0.0%

(複数回答)

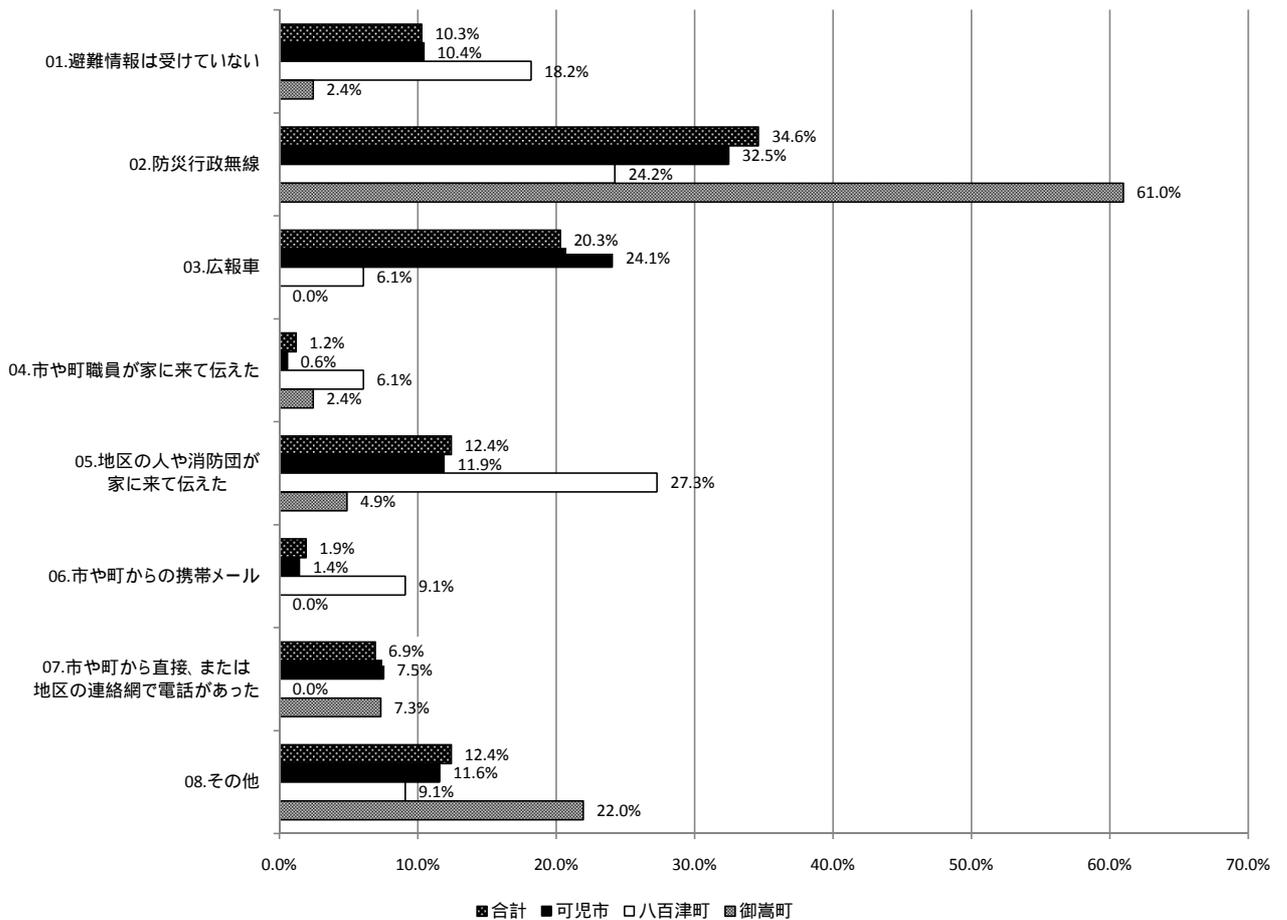


13 あなたは、避難情報をどのように受けましたか。
【避難行動実態調査】

	計		可児市		八百津町		御嵩町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.避難情報は受けていない	43	10.3%	36	10.4%	6	18.2%	1	2.4%
02.防災行政無線	145	34.6%	112	32.5%	8	24.2%	25	61.0%
03.広報車	85	20.3%	83	24.1%	2	6.1%	0	0.0%
04.市や町職員が家に来て伝えた	5	1.2%	2	0.6%	2	6.1%	1	2.4%
05.地区の人や消防団が家に来て伝えた	52	12.4%	41	11.9%	9	27.3%	2	4.9%
06.市や町からの携帯メール	8	1.9%	5	1.4%	3	9.1%	0	0.0%
07.市や町から直接、または地区の連絡網で電話があった	29	6.9%	26	7.5%	0	0.0%	3	7.3%
08.その他	52	12.4%	40	11.6%	3	9.1%	9	22.0%

(複数回答)

「その他」の主な回答	
・TV、ケーブルTV	39
・家族や知人からの電話や携帯メール	7

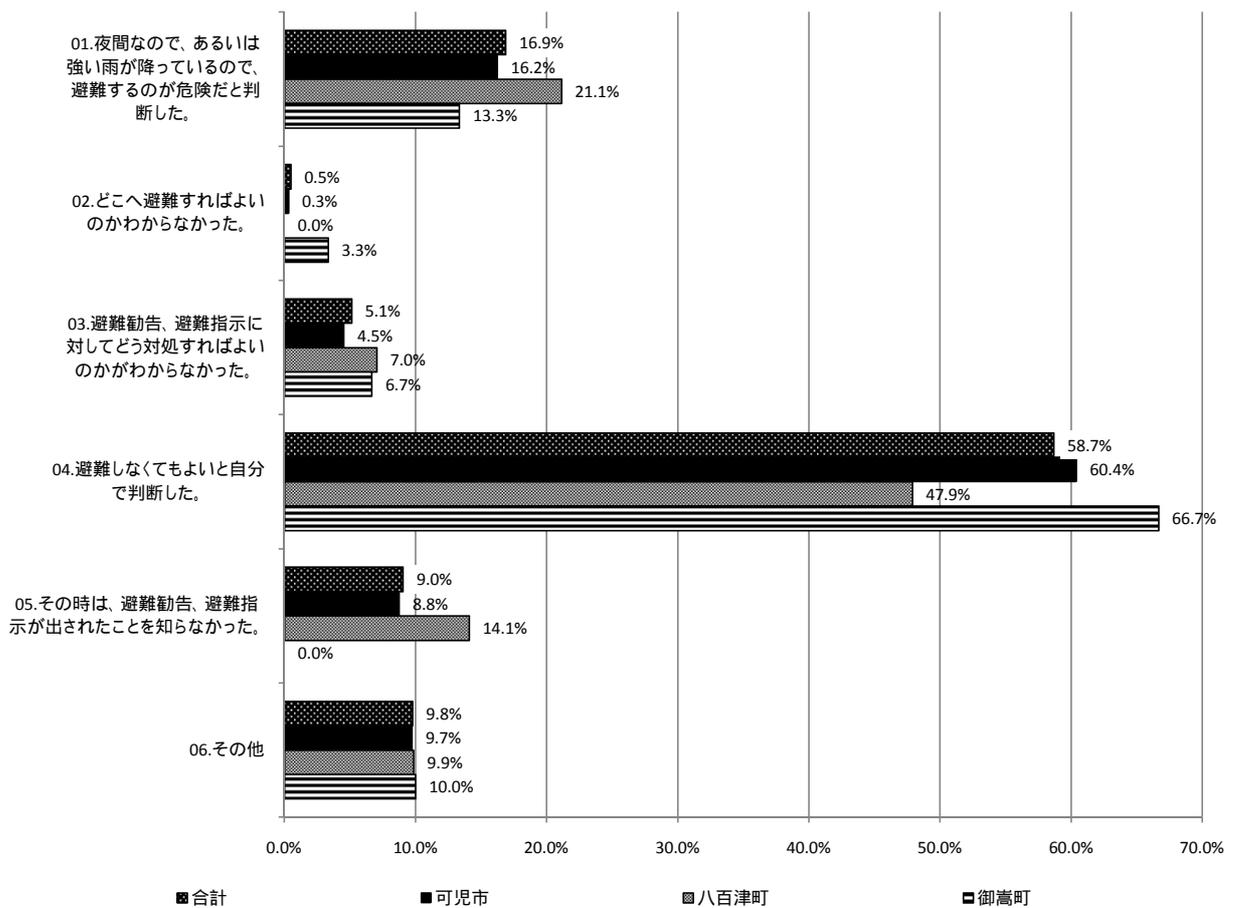


14 避難をしなかったのはどのような理由によるものですか。
【避難勧告等調査・避難行動実態調査】

	合計		可児市		八百津町		御嵩町	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
01.夜間なので、あるいは強い雨が降っているので、避難するのが危険だと判断した。	69	16.9%	50	16.2%	15	21.1%	4	13.3%
02.どこへ避難すればよいのかわからなかった。	2	0.5%	1	0.3%	0	0.0%	1	3.3%
03.避難勧告、避難指示に対してどう対処すればよいのかわからなかった。	21	5.1%	14	4.5%	5	7.0%	2	6.7%
04.避難しなくてもよいと自分で判断した。	240	58.7%	186	60.4%	34	47.9%	20	66.7%
05.その時は、避難勧告、避難指示が出されたことを知らなかった。	37	9.0%	27	8.8%	10	14.1%	0	0.0%
06.その他	40	9.8%	30	9.7%	7	9.9%	3	10.0%

(無効回答 25)

「その他」の主な回答	
・年離れた家族がいたのでかえって危険と判断した	2
・外出していた	2
・近所の方と相談し、大丈夫と判断した	1
・足が悪いので避難をあきらめた	1

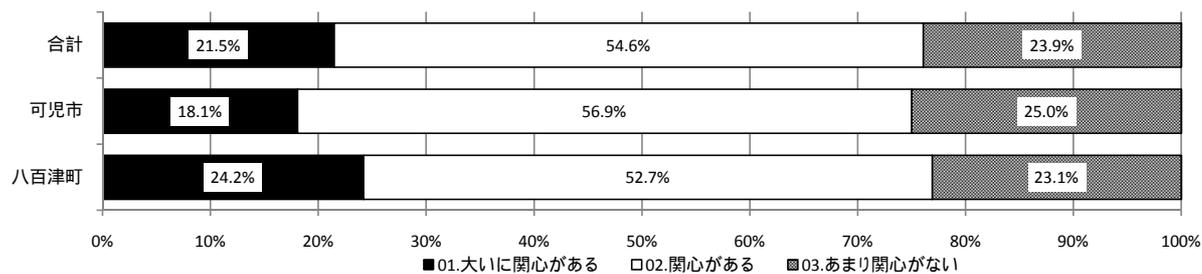


- 15 あなたの住んでいる地域の住民の方々は水害や土砂災害に関心を持ってみえると思いますか。また、避難勧告等がどのようなものであるか、理解されていると思いますか。
【避難勧告等調査】

< 災害への関心 >

	合計		可児市		八百津町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.大いに関心がある	35	21.5%	13	18.1%	22	24.2%
02.関心がある	89	54.6%	41	56.9%	48	52.7%
03.あまり関心がない	39	23.9%	18	25.0%	21	23.1%

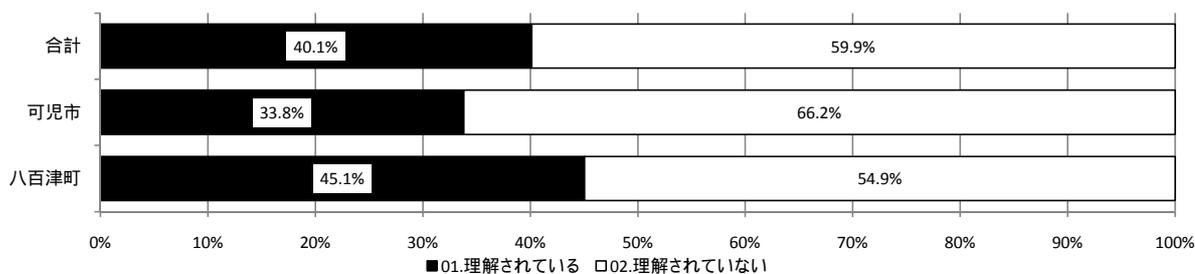
(無効回答 2)



< 避難勧告等 >

	合計		可児市		八百津町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
01.理解されている	65	40.1%	24	33.8%	41	45.1%
02.理解されていない	97	59.9%	47	66.2%	50	54.9%

(無効回答 3)



避難勧告等に対する住民の避難行動に関するアンケート調査結果 (市町村対象調査)

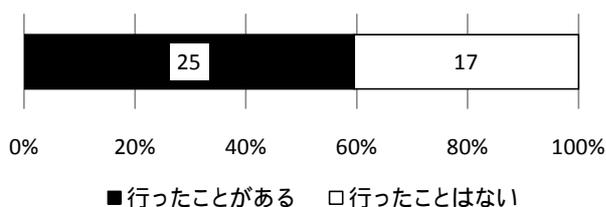
1 調査概要

- (1) 調査期間 平成22年8月4日～8月5日
- (2) 調査対象 42市町村
- (3) 調査方法 市町村防災担当部局へ調査表を送付して実施
- (4) 回収状況 42市町村 (回収率 100%)

2 調査結果

1. 避難勧告等について住民へ周知、啓発を行ったことがありますか。

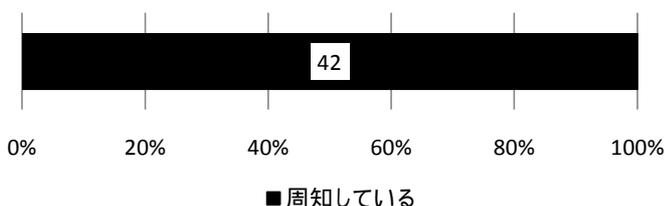
行ったことがある	25
行ったことはない	17



周知、啓発の方法	
・出前講座や自主防災会議等の場所で説明	7
・ハザードマップに掲載	5
・広報紙に掲載	4
・訓練時に説明	4
・住民説明会の開催	4
・パンフレット等の配布	5
・防災行政無線	2
・ケーブルテレビ	1
・消防団による各戸訪問	1
・ホームページで公開	1

2. 指定避難所、避難経路について何らかの方法で住民に周知していますか。

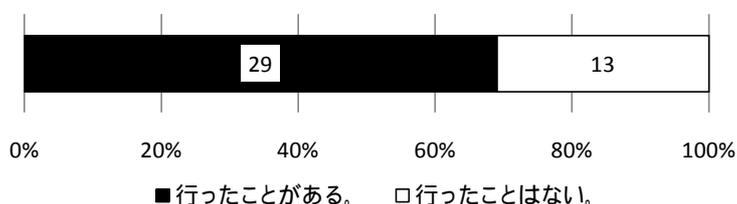
周知している	42
周知していない。	0



周知の方法	
・ハザードマップの配布	36
・ホームページに掲載	10
・防災訓練で周知	4
・広報紙に掲載	1
・ケーブルテレビ	2
・防災マニュアル等の配布	2
・出前講座	2

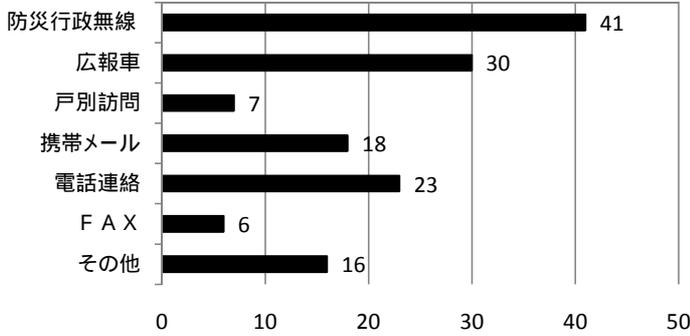
3. 住民を対象とした防災訓練(避難訓練)において、避難勧告等の発令を想定した訓練を行ったことがありますか。

行ったことがある。	29
行ったことはない。	13



4. 避難勧告等の発令はどのような手段、方法で住民へ伝達されていますか。 複数回答

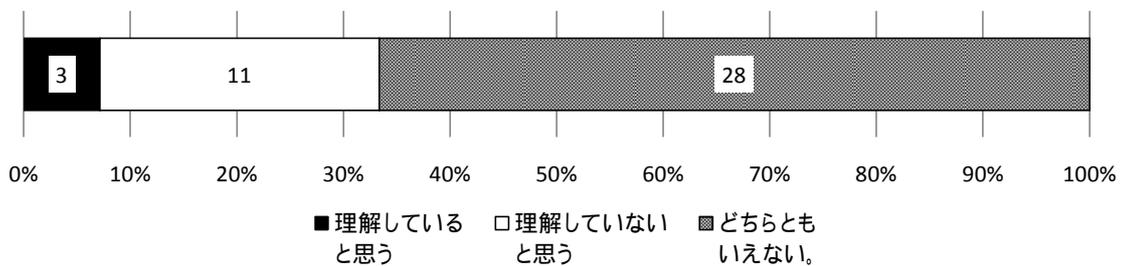
・防災行政無線	41	・広報車	30
・戸別訪問	7	・携帯メール	18
・電話連絡	23	・FAX	6
・その他	16		



その他の方法	
・ケーブルテレビ	5
・ホームページ	3
・消防車や消防団車両による巡回	3
・FM	2
・戸別受信機	1
・防災ラジオ	1
・区長から地域の連絡網にて伝達	1

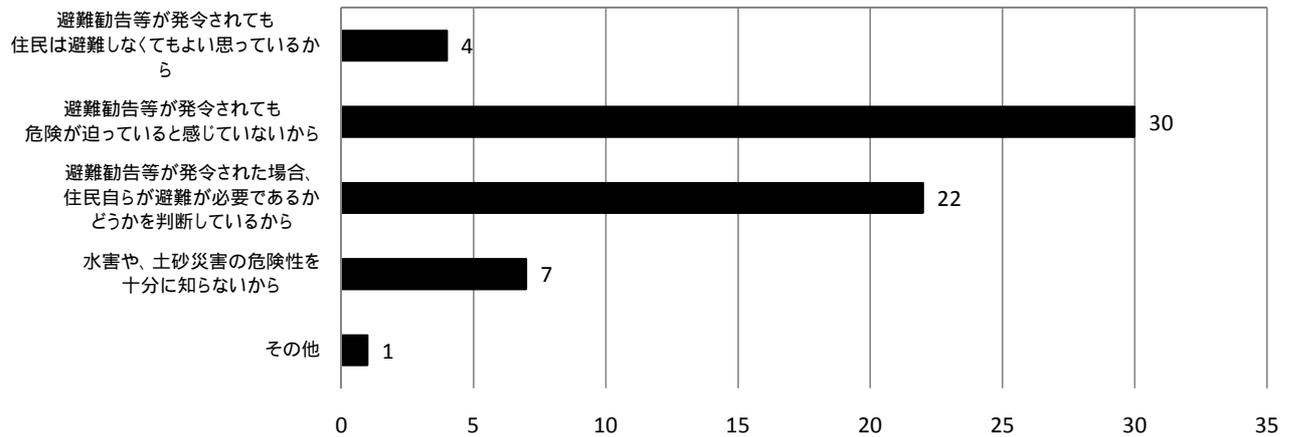
5. 住民は避難勧告等がどのようなものであるか(強制力の有無、発令される状況、発令されたときの対応など)十分理解していると思いますか。

・理解していると思う	3
・理解していないと思う	11
・どちらともいえない。	28



6. 避難勧告等が発令され避難を住民に呼びかけても、避難する住民が少ないのは、どのような理由があると思いますか。 複数回答

・避難勧告等が発令されても住民は避難しなくてもよい思っているから	4
・避難勧告等が発令されても危険が迫っていると感じていないから	30
・避難勧告等が発令された場合、住民自らが避難が必要であるかどうかを判断しているから	22
・水害や、土砂災害の危険性を十分に知らないから	7
・その他	1



7. 避難勧告等に従って速やかに住民が避難させるためにどのような対策が必要であると考えますか。

避難勧告等の意味の周知・徹底を図る。	13
・パンフレットの配布等 ・全町民が同じ考えで行動できるよう周知が必要 ・具体例を示して周知	
住民を対象とした、避難訓練を充実させる。	9
・自主防災組織ごとの平常時における訓練 ・河川沿いの住民は「水害」、土砂災害危険区域内の住民は「土砂災害」と分け、 実働訓練や災害図上訓練を実施	
地域(自主防災組織・消防団・民生委員)などの連携を強くする。	2
・地元自治会、消防団、行政の関係者の話し合い ・自治会長、民生委員、消防署などの関係機関と連絡をとり、災害時の避難行動 について呼びかけてもらう	
自主防災組織のリーダーを養成して、避難行動を促す。	5
・地域に防災意識が高く知識のある防災リーダーを育て、災害時に率先して行動 してもらう	
居住する地域の災害の危険度を周知する。	8
・本当に危険が迫っているということを知らせることが大切 ・災害の危険性を口頭で伝え避難を促すなどの直接住民に働きかけることが必要	
避難勧告の伝達方法を工夫し、危険性を明確に伝える。	6
・防災行政無線など、住民への伝達方法の整備 ・防災メール等の一層の普及啓発	

避難勧告等伝達マニュアルに基づく避難勧告等の発令に関するアンケート調査結果 (市町村対象調査)

1 調査概要

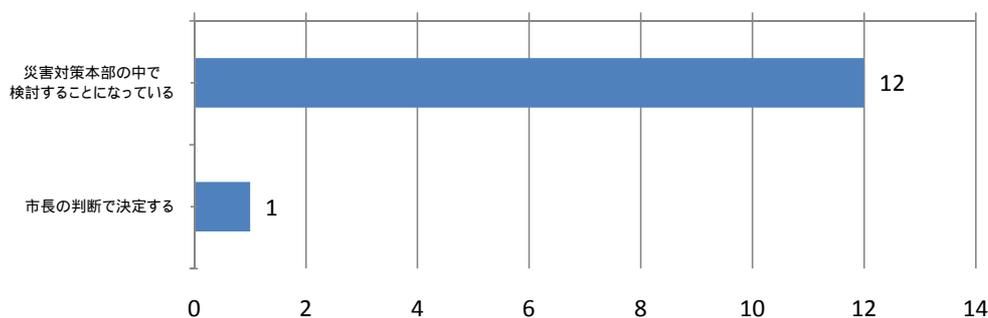
- (1) 調査期間 平成22年8月4日～8月5日
- (2) 調査方法 調査対象 13市町村
調査方法 市町村防災担当部局へ調査表を送付して実施
- (3) 回収状況 13市町村 (回収率 100%)
- (4) 調査対象 避難勧告の発令または、土砂災害警戒情報が発表された13市町村

	中津川市	瑞浪市	恵那市	土岐市	多治見市	可児市	八百津町	白川町	御嵩町	川辺町	七宗町	東白川村	美濃加茂市
避難勧告発令													
土砂災害警戒情報発表													

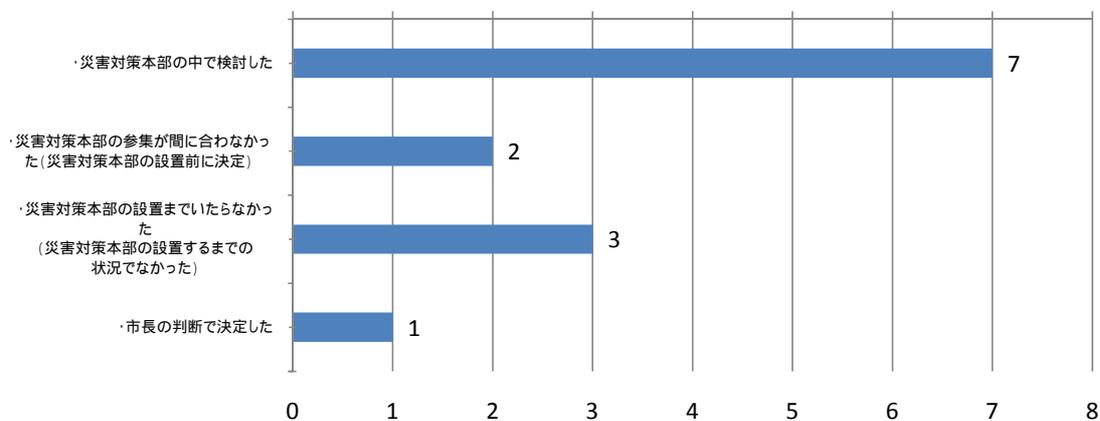
2 調査結果

避難勧告、避難指示(以下、「避難勧告等」という。)について

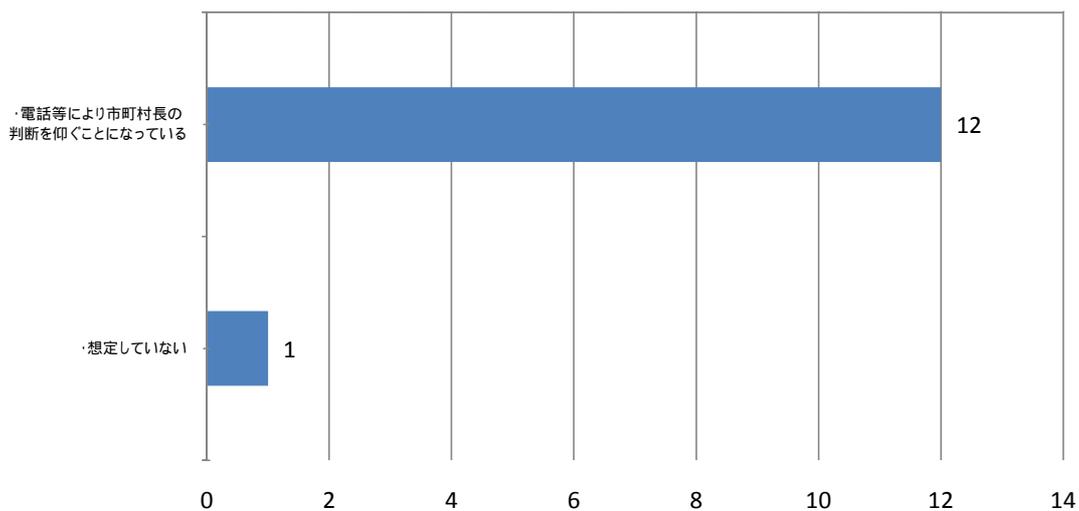
- 1 マニュアルに基づく避難勧告等の発令を決定するために会議等の招集を行うことになっていますか。



- 1 - 2 7月15日の災害において、1の設問のとおり実施されましたか

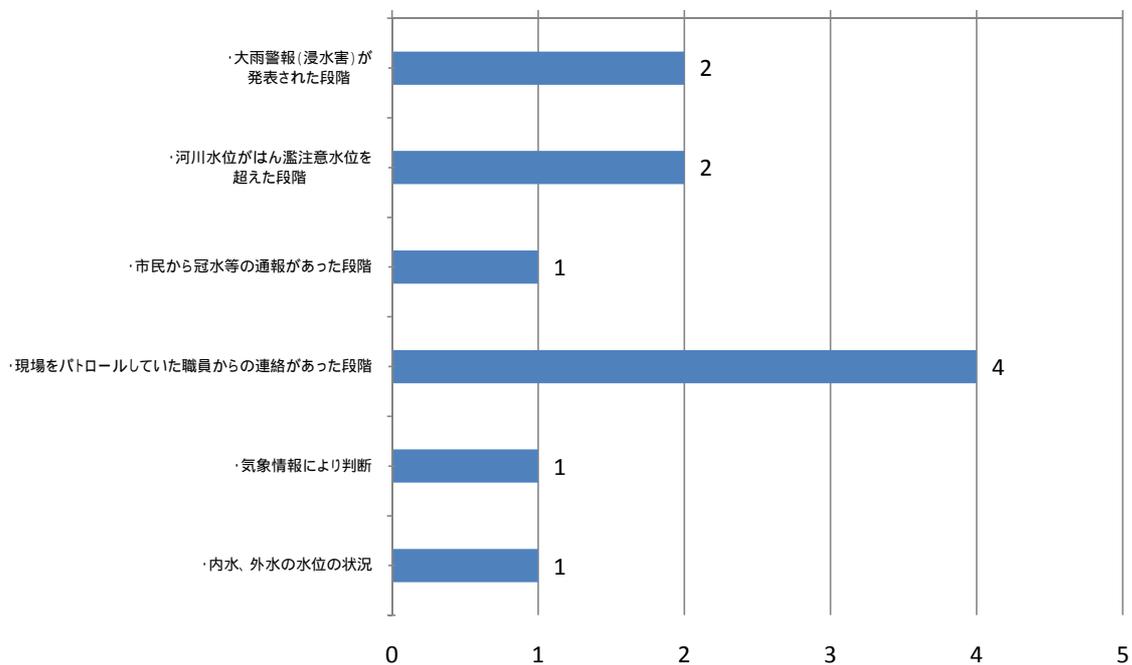


2 短時間の集中豪雨などにおいて、職員体制が整わなくても避難勧告等の判断が下せる体制が整備されていますか。

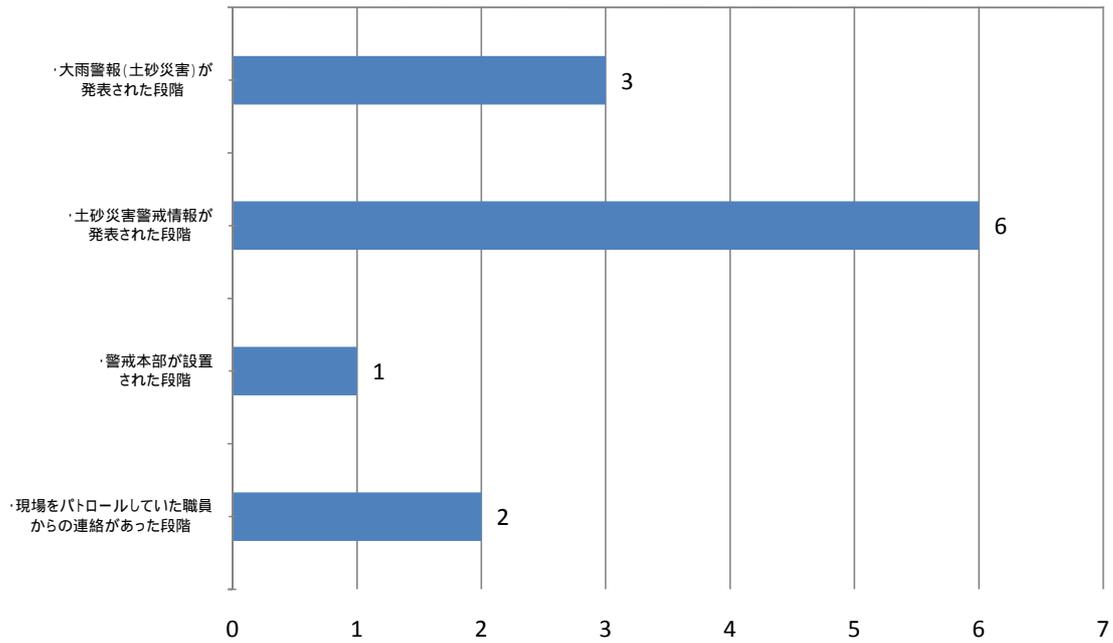


3 7月15日の豪雨時に避難勧告等について、どの段階で発令の検討を開始しましたか。

3 - 1 水害について検討した場合 (複数回答)



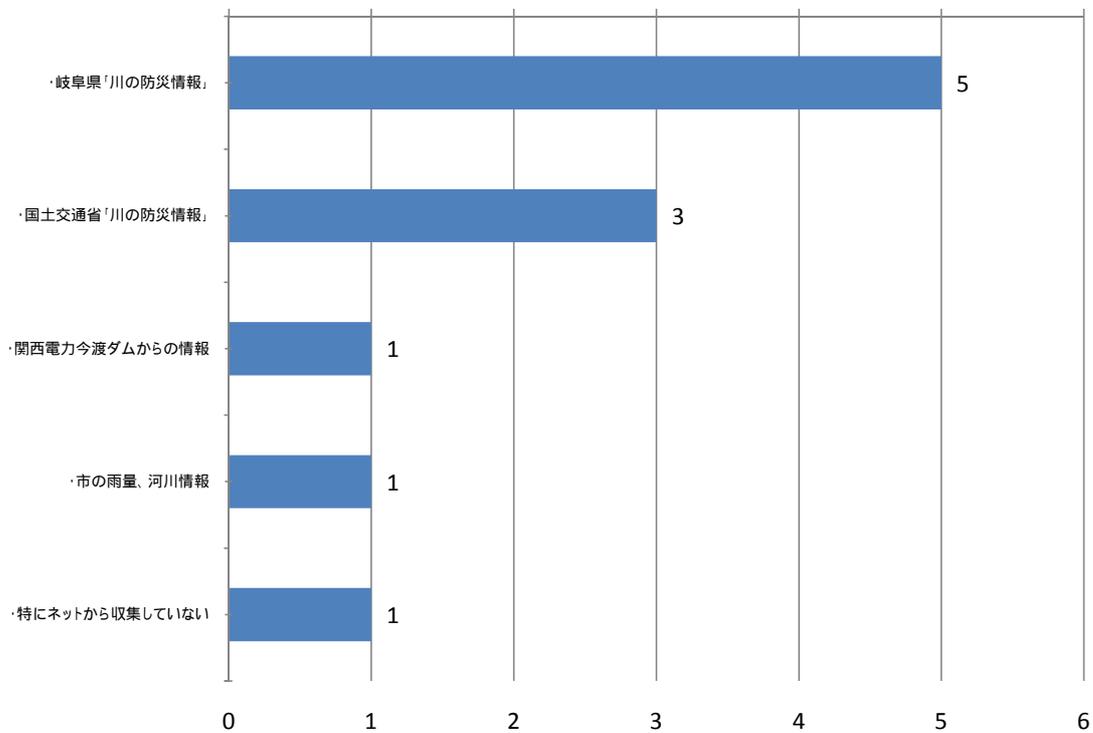
3 - 2 土砂災害について検討した場合(複数回答)



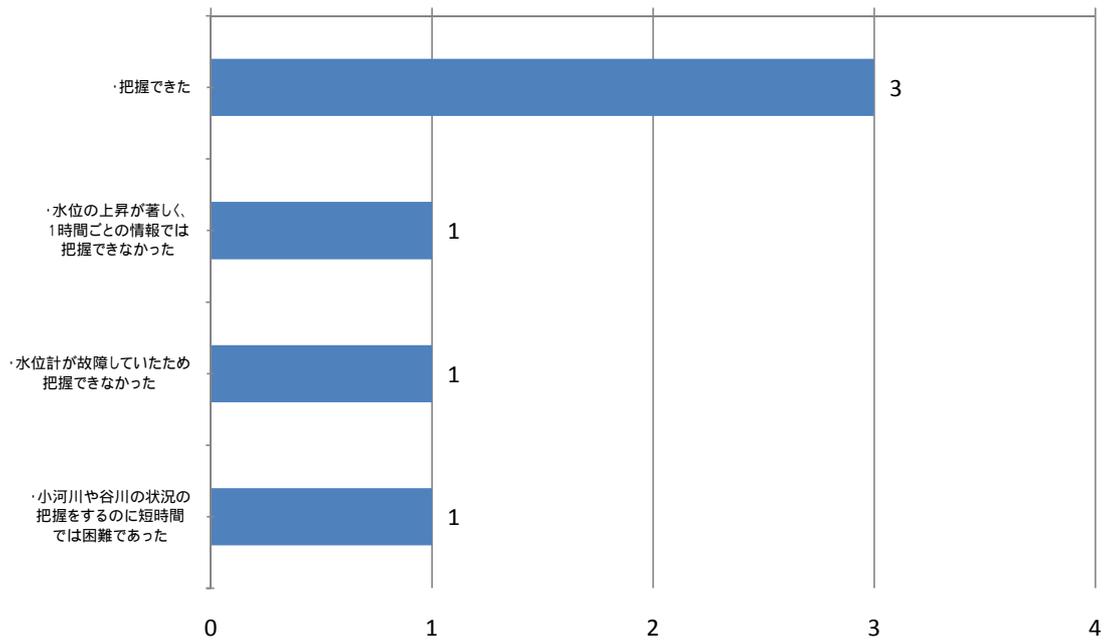
マニュアルに記載されている判断基準について

4 7月15日の豪雨時における水害による避難勧告等の検討について

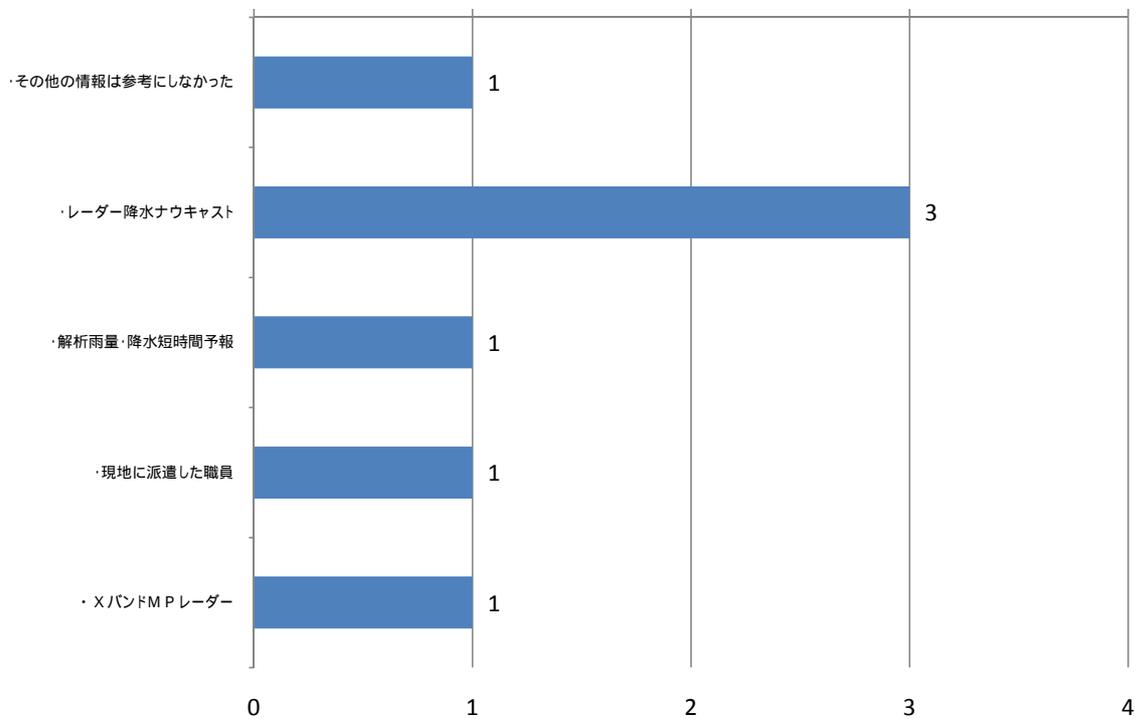
4 - 1 水位等判断基準に係る情報はどのように入手していましたか(複数回答)。



4 - 2 短時間に水位の急激な変化がありました、避難勧告等の発令のために収集した水位情報は、短時間の水位変化を常に把握できるものでしたか(複数回答)。



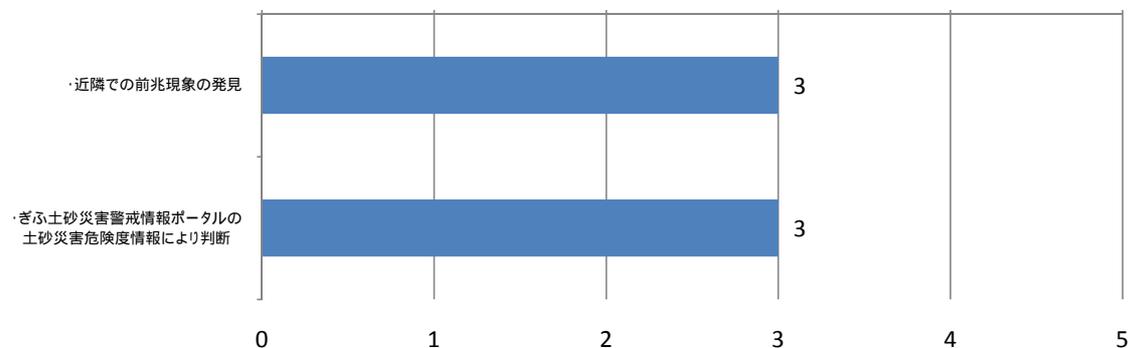
4 - 3 水位情報を補完するその他の情報、又は河川状況を把握するために参考にした情報はありましたか(複数回答)。



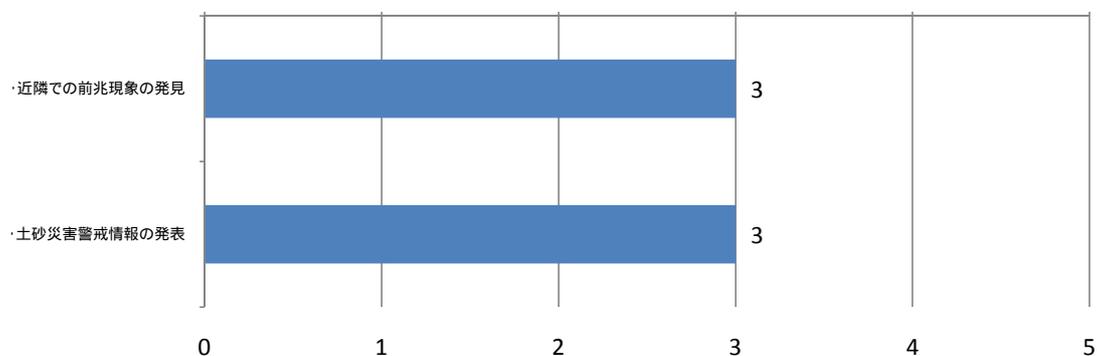
5 7月15日の豪雨時における土砂災害による避難勧告等の検討について

5 - 1 どのような判断基準で避難勧告を発令しましたか(複数回答)。

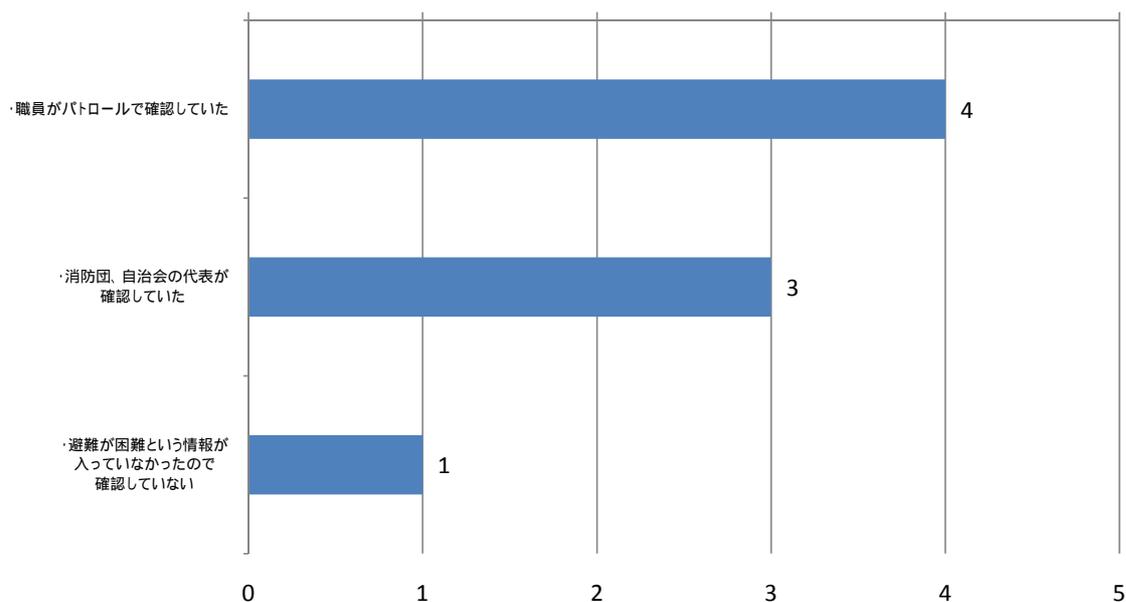
(避難所が近くにある場合)



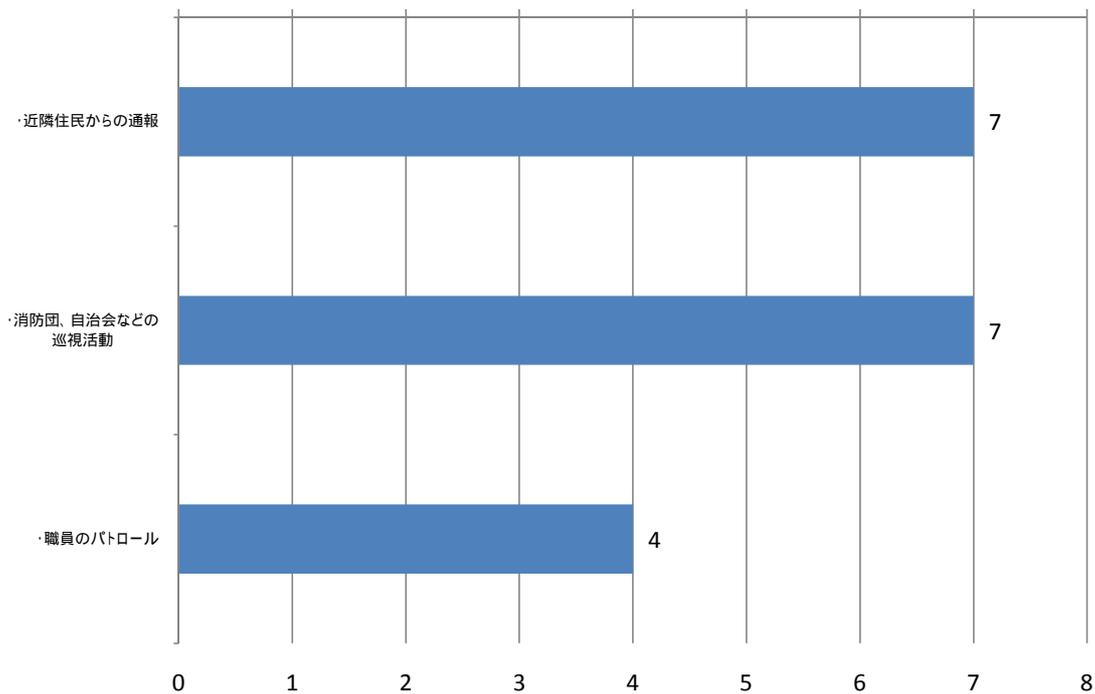
(避難所が遠くにある場合)



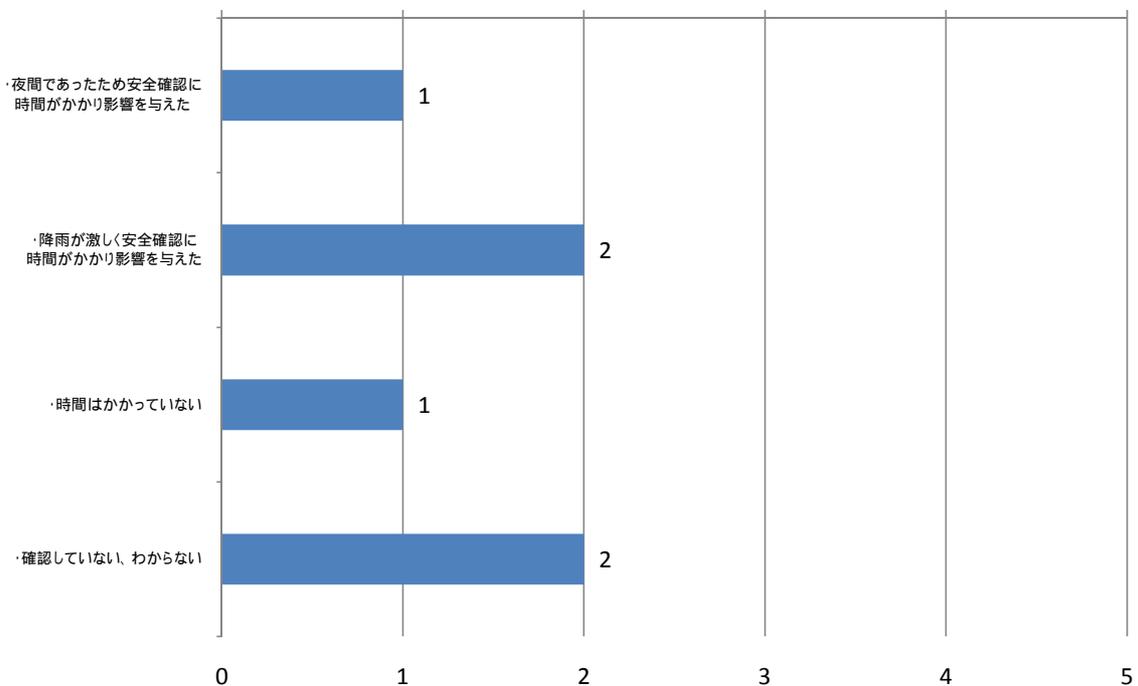
5 - 2 住民が安全に避難ができる状況の確認について、その情報収集はどのように行いましたか(複数回答)。



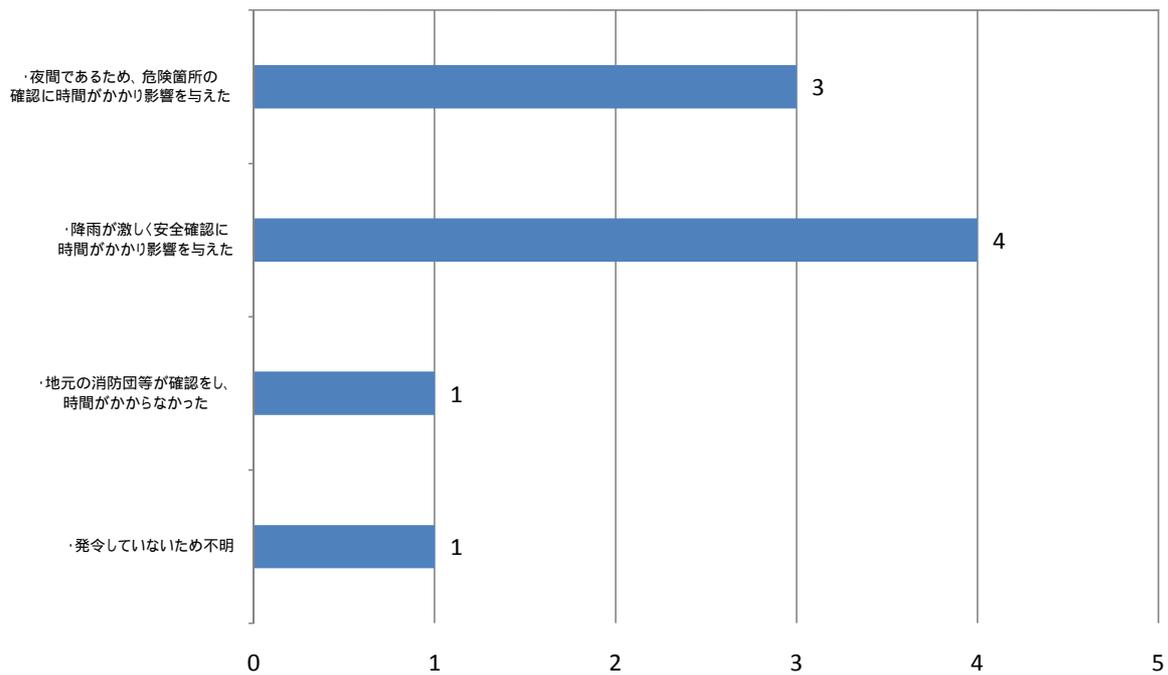
5 - 3 前兆現象の有無について、その情報収集はどのように行われましたか(複数回答)。



5 - 4 住民が安全に避難ができる状況の確認は、発令時間に影響を与えましたか(複数回答)。

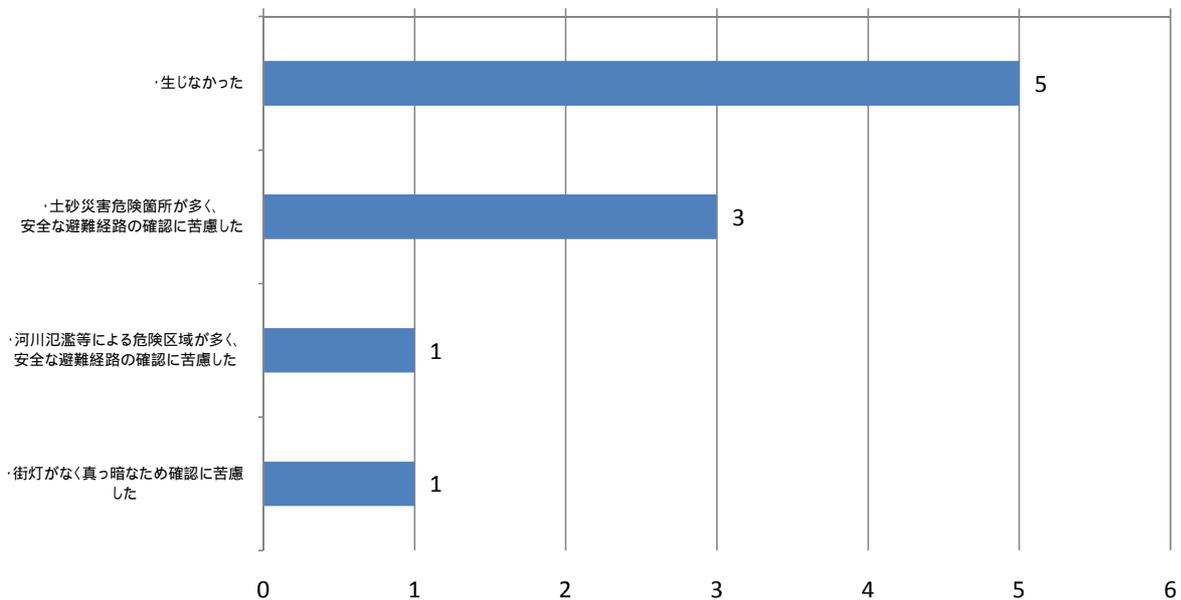


5 - 5 前兆現象が発見された箇所の情報収集など、確認作業は発令時間に影響しましたか(複数回答)。

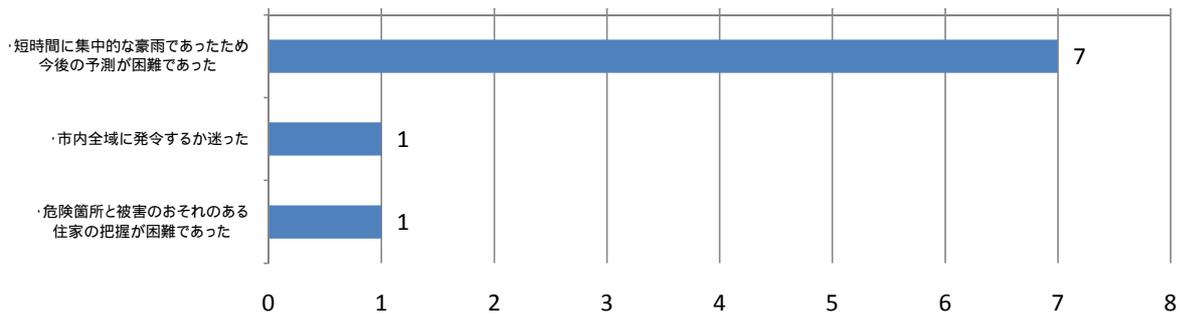


6 7月15日の豪雨時において、マニュアルに基づいて、避難勧告等の検討、または発令を行った市町村にお尋ねします。

6 - 1 避難勧告等の発令の検討において、判断基準以外の条件(地域事情)について検討、配慮する必要性が生じた場合は(複数回答)。

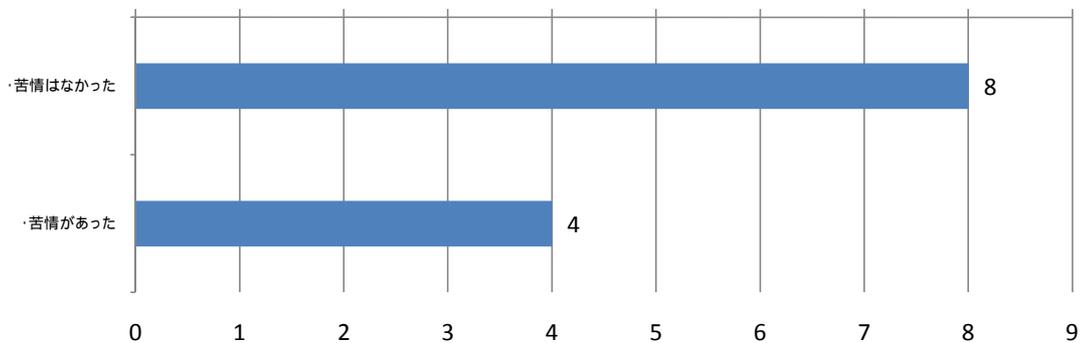


7 避難勧告等の発令において、その他苦慮した内容は何ですか(複数回答)。

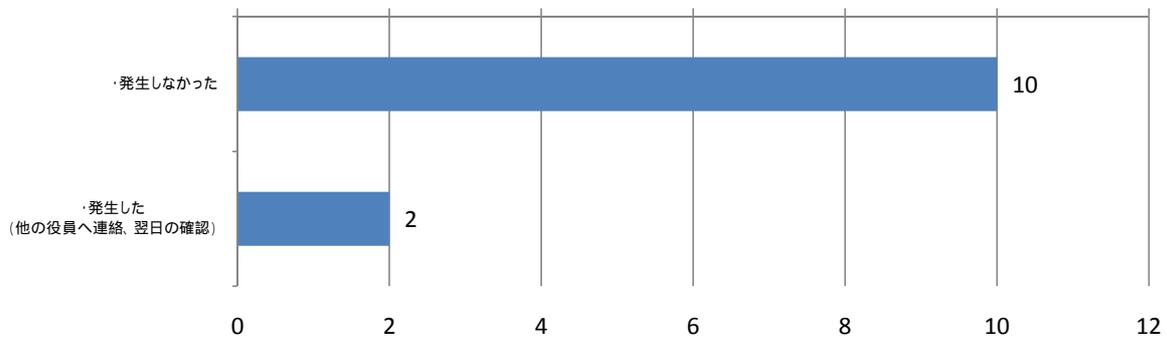


避難勧告等の伝達についてお尋ねします。

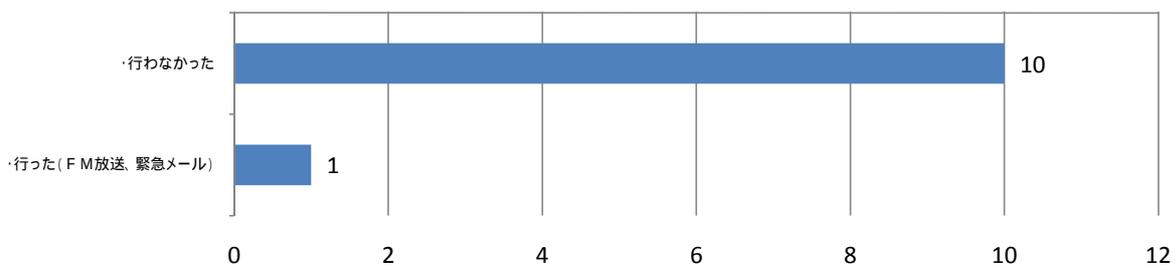
8 激しい降雨のため、同報無線の放送や広報車のスピーカの音声聞き取れないなどの苦情がありましたか。



9 避難勧告等の連絡先(自治会長、要援護者施設)に連絡が取れない事態が発生しませんでしたか。



10 7月15日の豪雨時にマニュアルに記載した以外の方法による情報伝達を行いませんでしたか。



可児川洪水ハザードマップに関するアンケート調査結果 (住民対象調査)

平成22年8月10日付にて、可児川の浸水想定区域が存在する地区に住んでいる住民を対象にアンケート調査を依頼し、8月17日までに回答を得た。

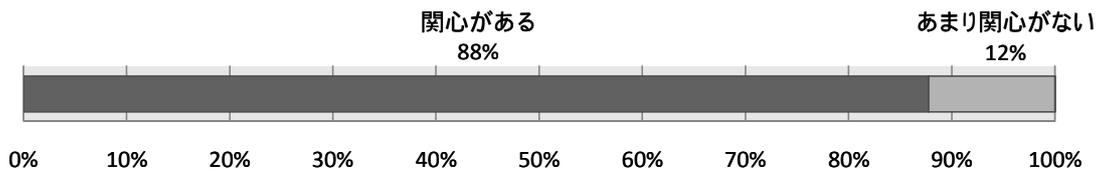
アンケート調査実施世帯数：60世帯（可児市：7地区30世帯 御嵩町：8地区30世帯）

アンケート回収率：49 / 60 = 81.7%

7月15日の豪雨時に可児市・御嵩町から発令された避難勧告、避難指示についてお伺いします。

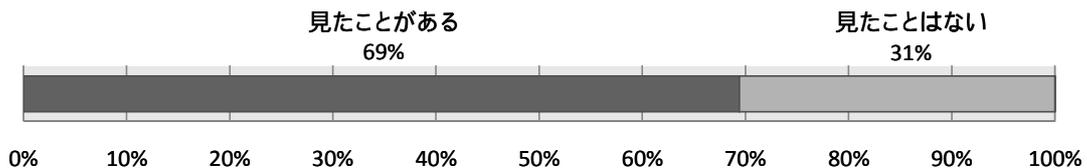
問1 あなたは、従来から、水害や土砂災害に関心をお持ちですか。

関心がある	43件
あまり関心がない	6件



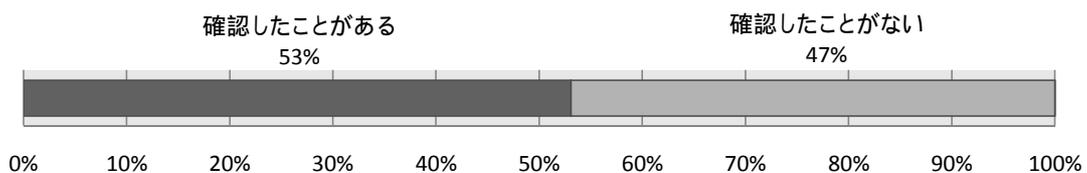
問2 あなたは、洪水ハザードマップを見たことがありますか。

見たことがある	34件
見たことはない	15件



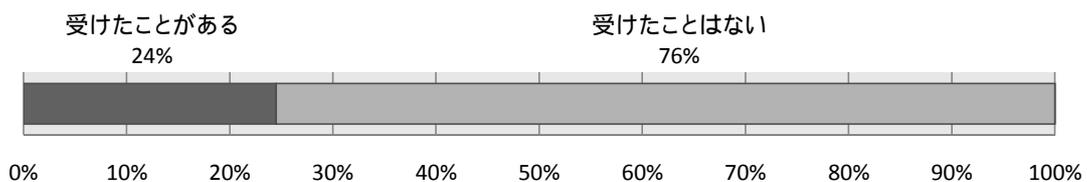
問3 あなたは、洪水ハザードマップを利用して、自分の住んでいるところ又は周辺地域の状況を確認したことがありますか。

確認したことがある	26件
確認したことがない	23件



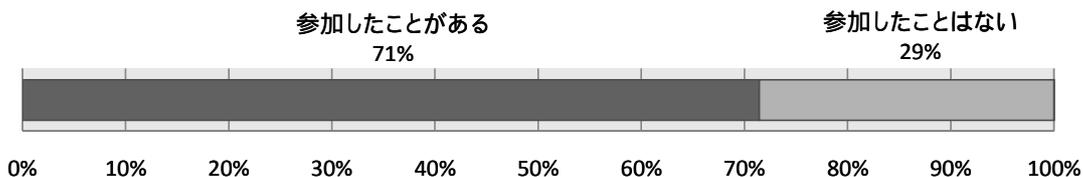
問4 避難情報、避難勧告等について市役所、役場等から説明を受けたことがありますか。

受けたことがある	12件
受けたことはない	37件



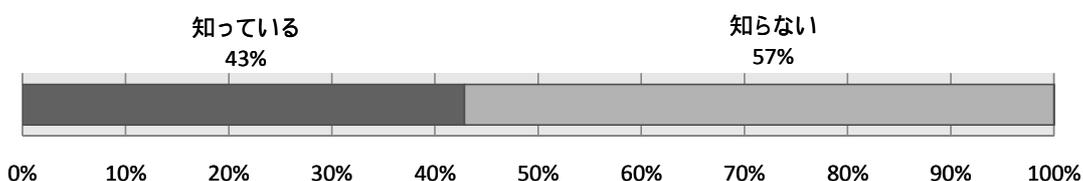
問5 あなたは、防災訓練(避難訓練)に参加したことがありますか。

参加したことがある	35件
参加したことはない	14件



問6 あなたは、市町から発令される避難勧告、避難指示がどのようなものであるか(強制力があるのか、どのようなときに発令されるのかなど)知っていますか。

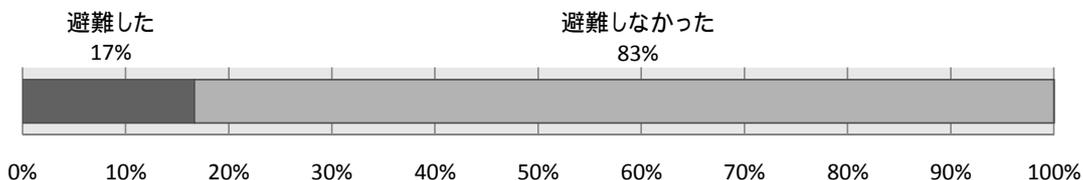
知っている	21件
知らない	28件



問7 7月15日の豪雨時に避難勧告、又は避難指示が発令された地域の方にお尋ねします。あなたは、避難勧告や避難指示が発令され、避難をしましたか。

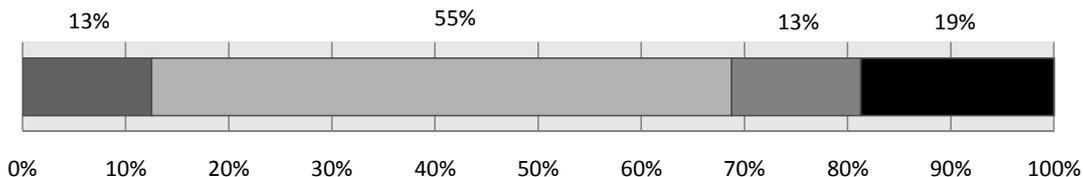
避難した	6件
避難しなかった	30件
無回答(避難勧告・指示がない)	13件

下表は、避難勧告、又は避難指示が発令された地域を対象に作成(対象は36世帯)



問7 補問 なぜ避難しなかったのか。

夜間なので、あるいは強い雨が降っているので、避難するのが危険だと判断した。	4件
どこへ避難すればよいのかわからなかった。	0件
避難勧告、避難指示に対してどう対処すればよいのかわからなかった。	0件
避難しなくてもよいと自分で判断した。	18件
その時は、避難勧告、避難指示が出されたことを知らなかった。	4件
その他	6件

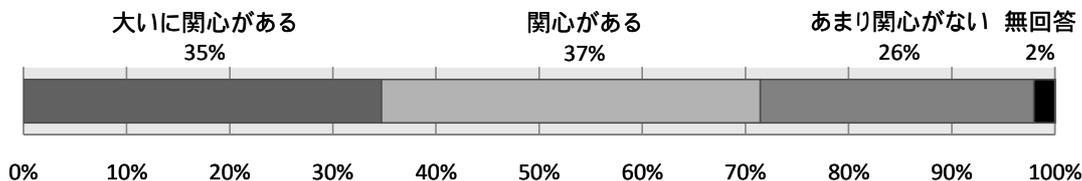


その他: 浸水して、外に出られなかった
隣りに寝たきりの方がいたので、避難しなかった
仕事場が浸水し、その対応に当たっていた
役場に連絡をして川を見てもらい、異常なしとのことだった
工作中、外出中のため不在であった

問8 あなたの住んでいる地域の住民の方々は水害や土砂災害に関心を持ってみえると思いますか。また、避難勧告等がどのようなものであるか、理解されていると思いますか。

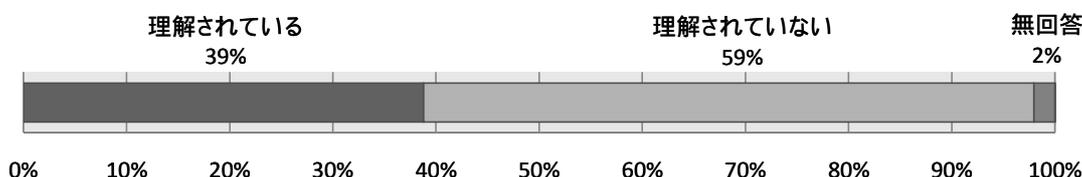
<災害への関心>

大に関心がある	17件
関心がある	18件
あまり関心がない	13件
無回答	1件



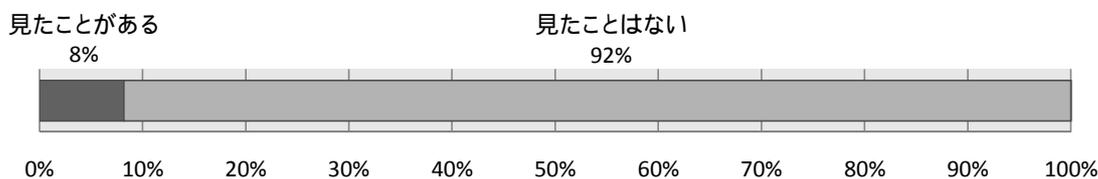
<避難勧告等>

理解されている	19件
理解されていない	29件
無回答	1件



問9 あなたは、インターネットで「岐阜県 川の防災情報」のホームページを見たことがありますか。

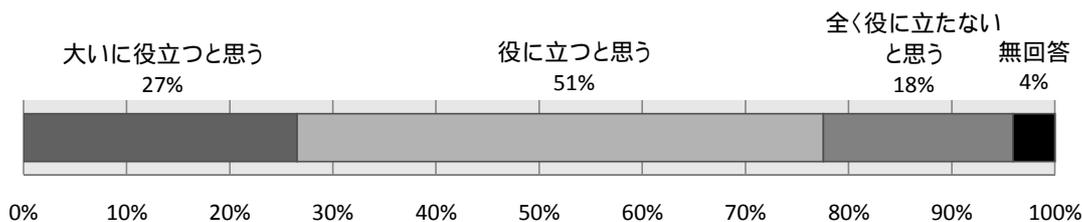
見たことがある	4件
見たことはない	45件



ご意見: インターネットをやっていません

問10 「岐阜県 川の防災情報」のホームページでは、洪水時の河川の危険性等の状況把握のため県内の主要な河川に設置した河川監視用カメラの画像を24時間リアルタイムで提供しています。あなたは、可児川の河川監視用カメラの画像がインターネット等で見る事ができるようになったら、水害の発生する可能性が高まったときの避難行動の判断などに役に立つと思いますか。

大いに役立つと思う	13件
役に立つと思う	25件
全く役に立たないと思う	9件
無回答	2件



ご意見: パソコンを持っていない人は、役に立たない
インターネットを活用していない年寄世帯には、役に立たない
ホームページの見方、パソコンの使用出来ない人が多いことを忘れていませんか？
みんなが一度にアクセスすると、つながらない

洪水ハザードマップに関するアンケート調査結果 (市町村対象調査)

平成22年8月 岐阜県

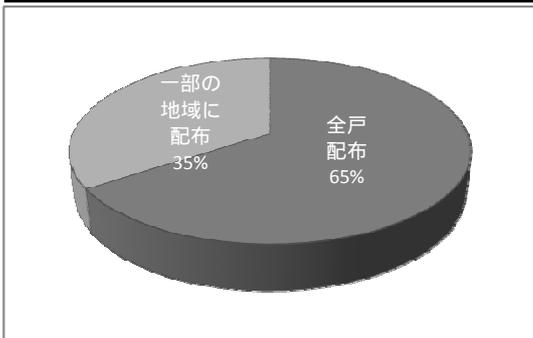
平成22年8月4日付にて、42の県内全市町村に対し、アンケート調査を依頼し、8月6日までに全市町村から回答を得た。

このうち35市町村については、洪水ハザードマップの作成・公表を全て終えている。その他の7町村については、洪水ハザードマップ作成対象外としているため、以下の取りまとめでは除外するものとする。

1 洪水ハザードマップの配布について

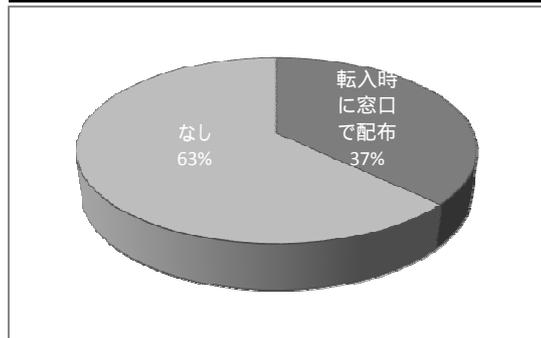
(配布の範囲)

全戸配布	23件
一部の地域に配布	12件



(その後の転入者に対するフォローアップ)

転入時に窓口で配布	13件
なし	22件



(対象35市町村における配布先について)

(浸水想定区域内に位置する施設のうち)

住民(各戸)	35件 / 35
公民館	17件 / 33(該当なし2件)
学校	17件 / 31(該当なし4件)
病院	9件 / 30(該当なし5件)
福祉施設	12件 / 30(該当なし5件)
保育園・幼稚園	16件 / 31(該当なし4件)
その他	7件

「該当なし」とは、区域内に施設がないもの

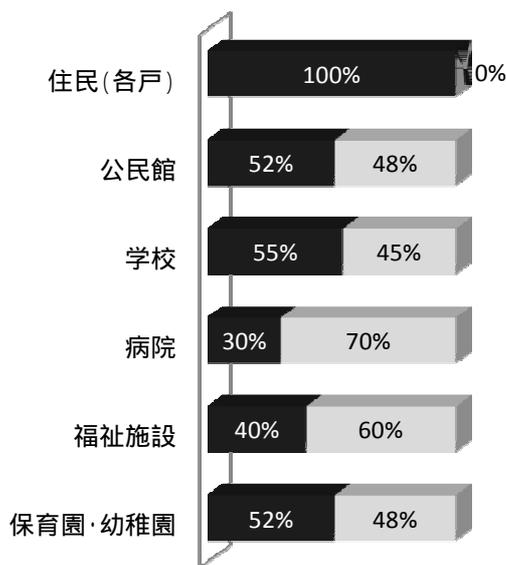
(浸水想定区域外に位置する施設のうち)

住民(各戸)	26件 / 33(該当なし2件)
公民館	11件 / 33(該当なし2件)
学校	13件 / 33(該当なし2件)
病院	6件 / 33(該当なし2件)
福祉施設	7件 / 33(該当なし2件)
保育園・幼稚園	13件 / 33(該当なし2件)
その他	7件

「該当なし」とは、市町全体が区域となっているもの

浸水想定区域内

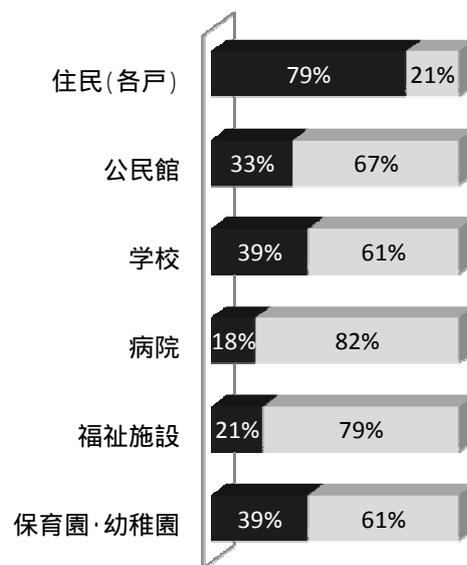
■ 配布している ■ 配布していない



「該当なし」については、母数から除外している

浸水想定区域外

■ 配布している ■ 配布していない



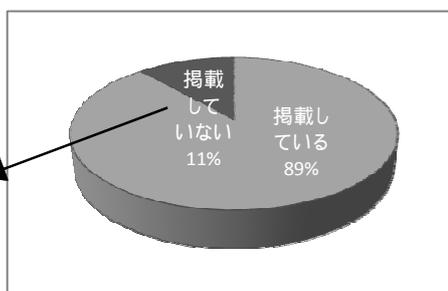
「該当なし」については、母数から除外している

2 インターネットや公共施設における掲示について
(インターネットへの掲載状況)

掲載している	31件
掲載していない	4件

(掲載していない町村について)

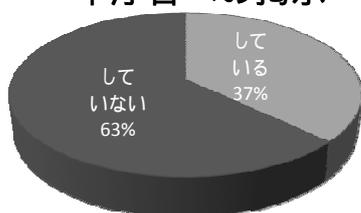
今年度中に掲載予定	1件
掲載予定(時期未定)	2件
掲載する予定無し (理由:他業務もあり余裕がない)	1件



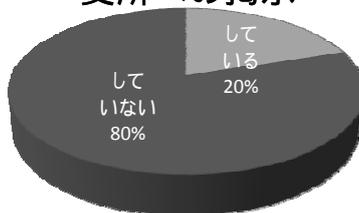
(公共施設における掲示状況)

本庁舎への掲示	している	13件	していない	22件	
支所への掲示	している	6件	していない	24件	支所がない 5件
公民館・避難所への掲示	している	11件	していない	24件	

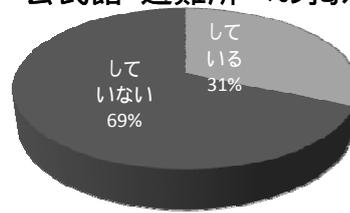
本庁舎への掲示



支所への掲示



公民館・避難所への掲示



支所がない町村を母数から除いている

3 その他の手段による住民への周知方法について

(複数回答)

希望者に窓口等で配布	33件
広報誌への掲載	22件
防災訓練時における説明	17件
自治会等への説明会や出前講座の開催	10件
ケーブルテレビによる放映	1件
集会所への掲示	1件

4 洪水ハザードマップの活用状況

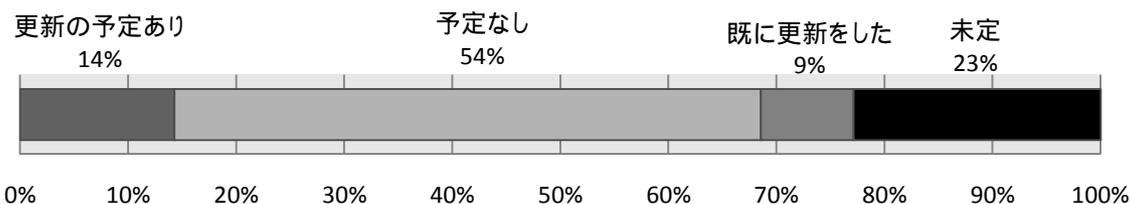
(複数回答)

ハザードマップを用いた図上避難訓練(DIG)を実施	15件
ハザードマップを用いたその他の防災訓練を実施	4件
説明会や出前講座の際に教材として使用	10件
その他	4件
活用していない	12件

その他の内容
・避難区域選定、避難計画に活用
・日頃の防災意識向上に活用
・避難勧告発令時の判断材料
・防災備蓄倉庫設置高の検討材料

5 洪水ハザードマップの更新について

更新の予定あり	5件
予定なし	19件
既に更新をした	3件
未定	8件



6 洪水ハザードマップの更新の際に追加すべき情報について

・ 避難に関する情報 (避難判断基準、避難経路、避難方法、避難勧告発令対象区域)	6件
・ 土砂災害に関する情報 (土砂災害警戒(特別警戒)区域)	6件
・ 危険箇所の位置 (道路冠水頻発箇所、アンダーパス、もぐり橋)	2件
・ 内水はん濫浸水想定区域	2件
・ 河川毎のはん濫浸水想定区域	1件
・ 水位の情報 (水防団待機水位、はん濫注意水位、避難判断水位)	1件
・ 要援護者施設の位置	1件
・ ケータイ災害情報のQRコード	1件
・ 災害発生時の行政と住民の役割を示したフロー	1件
・ 近年の災害発生の特徴	1件
・ 過去の被災状況	1件
・ ゲリラ豪雨への警戒	1件
・ 建築物の更新	1件
・ 各種情報の伝達方法	1件

7 近年多発するゲリラ豪雨対応について (行政としての対応)

- ・ 早く避難ができるように、いち早い情報の提供
- ・ 警報等気象情報への留意
- ・ 増水に対する日頃からのチェック
- ・ 危険箇所の把握と、施設管理者に対する注意・啓発活動の実施
- ・ マニュアルの見直し(一番最悪の状況を考え行動し、職員の災害に対する意識を高める)
- ・ 住民に避難の必要性の有無について、適切な情報提供
- ・ 川の水位が急上昇する傾向がみられるので、水防体制に迅速に入る等、初動体制に注意する
- ・ XバンドMPLレーダー等を利用した情報収集
- ・ 住民の自助・共助の取り組みへの積極的な支援
- ・ 有効な方策が見出しがたい

(住民にお願いしたいこと)

- ・ 住民からの協力を得て情報を共有したい
- ・ 自らの責任において行動してもらいたい
- ・ 気象状況、災害の発生傾向がこれまでと比べ変化しているので、そういう意識・心構えを持ってもらいたい
- ・ 日頃から危険箇所や気象情報の収集をしてもらいたい
- ・ 水害に対する自主防災意識、危機管理意識をもっと高めてもらいたい
- ・ 避難勧告が発令されていなくても、危ないと感じたら、自主避難
- ・ 各種メディア等を活用した情報の収集と早めの避難
- ・ 自主防災隊における要援護者施設位置の把握と避難誘導
- ・ 土砂災害の危険のない箇所では、時間がなければ垂直避難(上層階への避難)
- ・ 自宅や職場、通勤経路などにどのような危険箇所があるのかを事前把握

砂防ハザードマップに関するアンケート調査結果 (市町村対象調査)

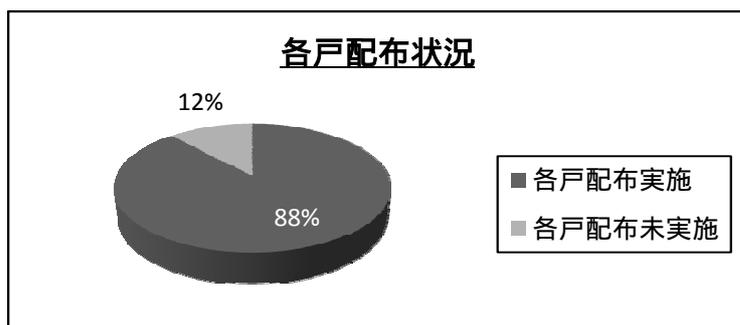
平成22年8月4日付にて、42の県内全市町村に対し、アンケート調査を依頼し、8月6日までに全市町村から回答を得た。

このうち34市町村については、砂防ハザードマップの作成まで完了。その他の8市町村については、砂防ハザードマップ作成対象外としているため、以下の取りまとめでは除外するものとする。

1 砂防ハザードマップの配布について

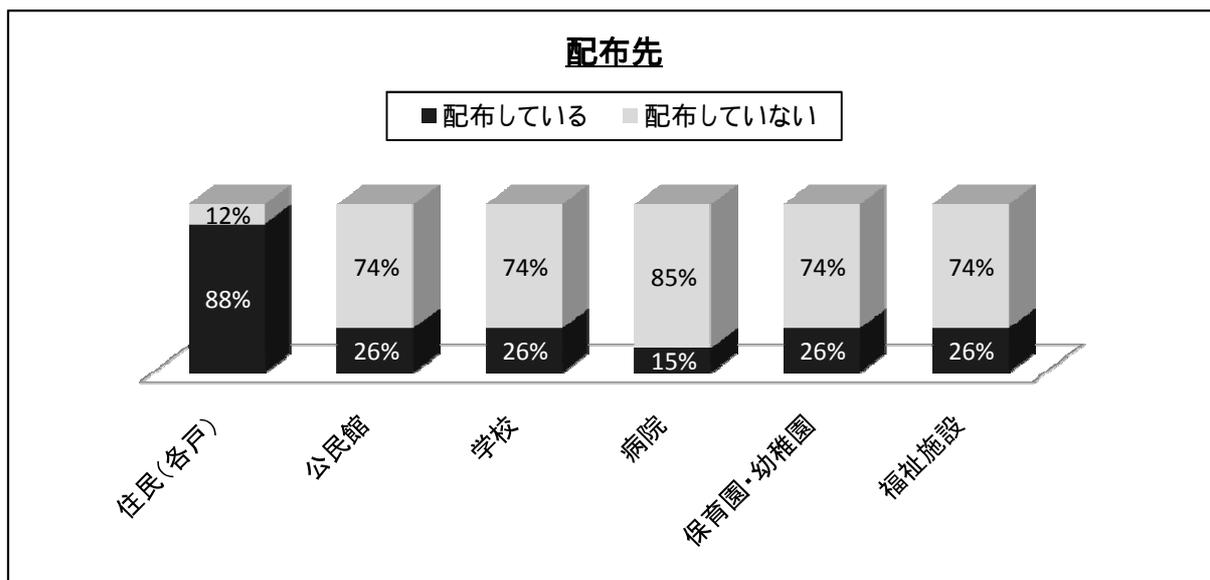
(配布の範囲)

各戸配布実施	30件
各戸配布未実施	4件



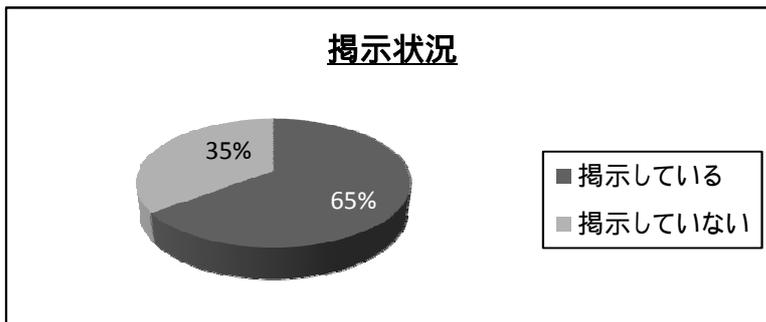
(対象34市町村における配布先)

住民(各戸)	30件	
公民館	9件	
学校	9件	
病院	5件	
保育園・幼稚園	9件	
福祉施設	9件	
その他	4件	(「その他」の内訳は「消防詰所:1件」「自治会長:1件」「要望があれば:2件」)



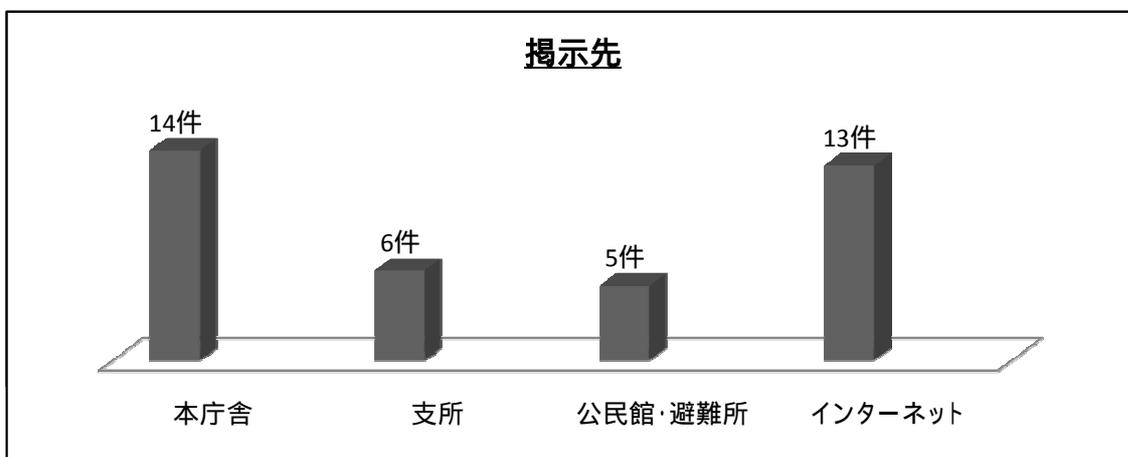
2 インターネットや市町村有施設における掲示について
 (インターネットへや市町村有施設での掲示状況)

掲示している	22件
掲示していない	12件



(掲示を実施している22市町村における掲示先)

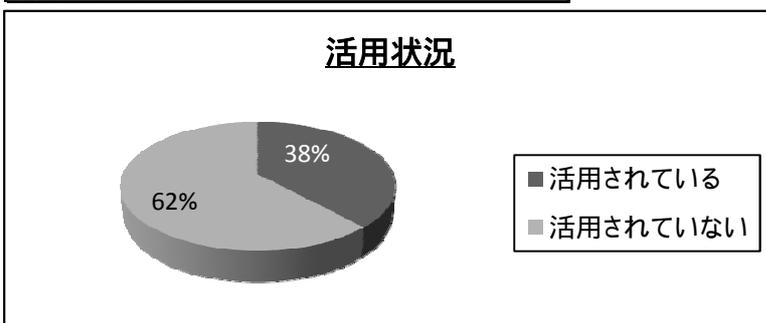
本庁舎	14件
支所	6件
公民館・避難所	5件
インターネット	13件



3 砂防ハザードマップの活用について

(活用状況)

活用されている	13件
活用されていない	21件



(活用されていると思われる主な理由)

- ・自主防災組織の活動に利用されている。
- ・防災訓練等で図上訓練に利用されている。

(活用されていないと思われる主な理由)

- ・危険箇所を認識するのみで、避難経路等の対応策がわからない。
- ・配布された際に確認しているはずだが、忘失している。
- ・災害が身近なものという認識が薄い。

(どうすれば住民が活用されるものとなるか)

- ・防災訓練や説明会の実施。
- ・避難経路等が記入された地区毎の危険区域図作成。
- ・ワークショップ等による住民参加型の危険区域図作成。

(周知のための市町村独自の取組実績)

- ・住民説明会の開催。
- ・防災訓練時に周知。
- ・広報の活用。(広報誌での特集記事、広報無線の活用)

(周知のための市町村独自の取組予定)

- ・住民説明会の開催。
- ・災害写真等を掲載した簡易パンフレットを作成し、各戸配布。

(危険区域図に追記した方がよい事項)

- ・災害時連絡先や避難場所。
- ・自助、共助の心構え。
- ・夜間に発生した場合の避難方法。

(土砂災害危険箇所を住民がより深く理解するための手法)

- ・家屋が危険箇所に含まれているかがわかる図を周知する。
- ・現地に看板等を設置する。
- ・被災地視察の実施。
- ・説明会の実施。

5 近年多発するゲリラ豪雨対応について

(行政としての対処)

- ・的確な情報収集に努め、迅速な情報提供を行う。
- ・迅速に豪雨に対する警戒体制をとる。
- ・常時からの周知活動の強化。
- ・同じ土石流危険箇所でも、災害発生頻度を鑑み、警戒優先順位を定める。

(住民にお願いしたいこと)

- ・自主避難体制の確立。
- ・各種メディア等を活用した情報収集と早めの避難。
- ・異変を感じたら市町村へ連絡する。

山地災害対策についてのアンケート調査結果 (市町村対象調査)

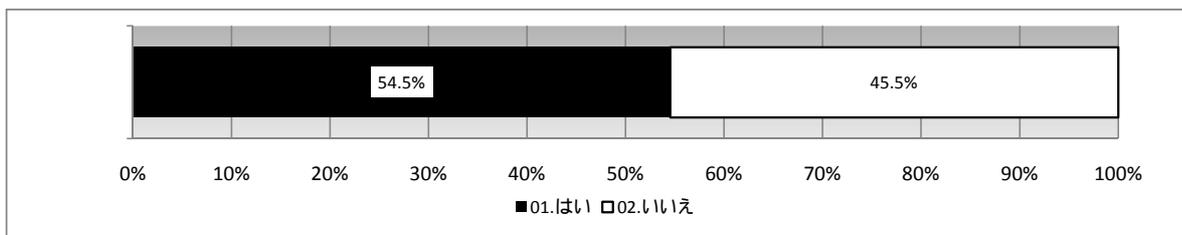
1 調査概要

- (1) 調査期間 平成22年8月6日～8月12日
- (2) 調査対象 災害のあった11市町村
岐阜市、八百津町、可児市、美濃加茂市、御嵩町、東白川村
白川町、多治見市、瑞浪市、中津川市、下呂市
- (3) 調査方法 市町村担当者に調査票を配布して実施
- (4) 回収状況 100%

2 集計結果

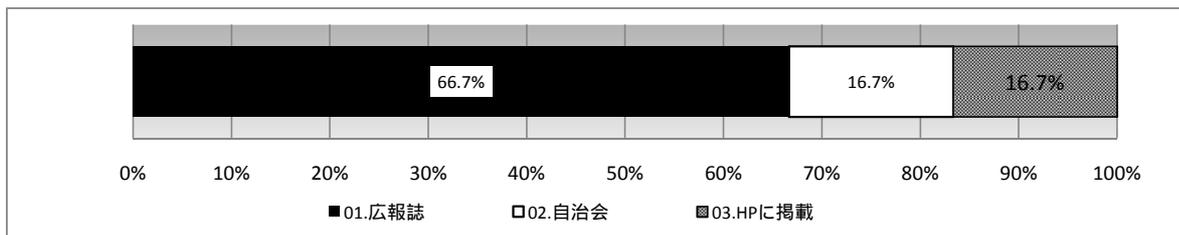
問1 山地災害危険地区位置図の住民への周知を行いましたか

01.はい	6	54.5%
02.いいえ	5	45.5%



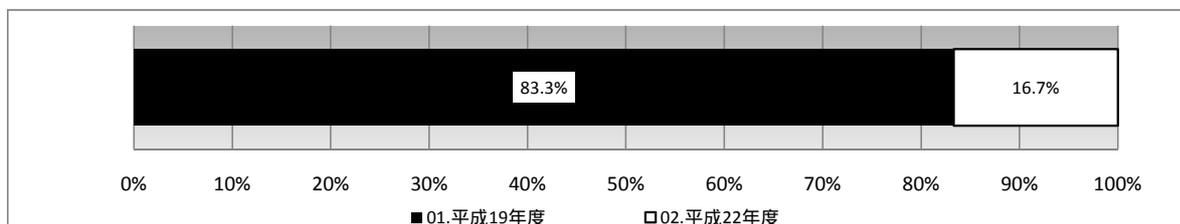
問2 山地災害危険地区位置図の住民への周知は、どのような方法で行いましたか
(周知を行った6市町村のみ解答)

01.各戸へ広報誌と同時配布	4	66.7%
02.各戸へ自治会を通じて配布	1	16.7%
03.HPに掲載	1	16.7%



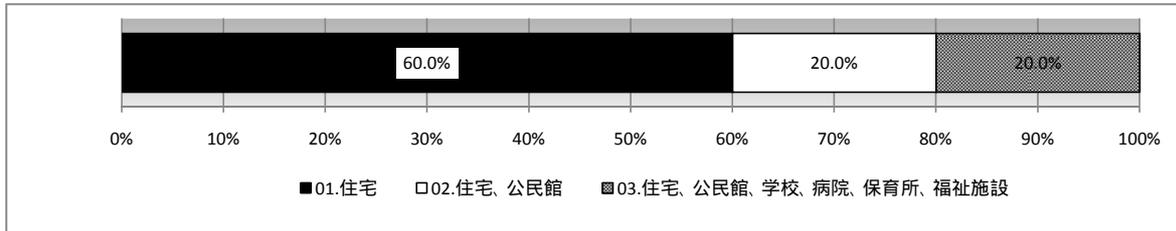
問3 山地災害危険地区位置図の住民への周知をおこなった時期はいつですか
(周知を行った6市町村のみ解答)

01.平成19年度	5	83.3%
02.平成22年度	1	16.7%



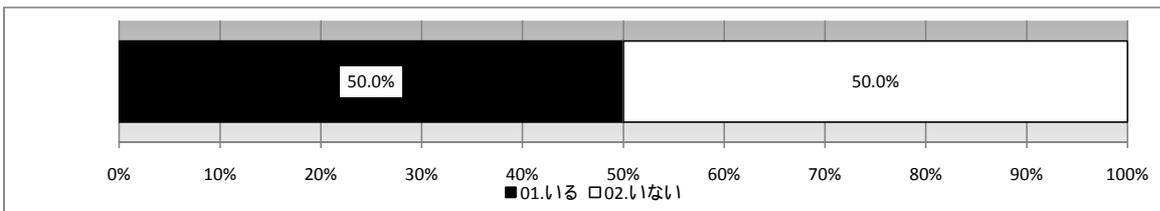
問4 山地災害危険地区位置図の配布先で該当するもの全てに「 」等を付けてください。
 { 住民(各戸) 公民館 学校 病院 保育所・幼稚園 福祉施設 その他 }
 (位置図の配布を行った5市町村のみ解答)

01.住宅(各戸)	3	60.0%
02.住宅(各戸)、公民館	1	20.0%
03.住宅(各戸)、公民館、学校、病院、保育所、福祉施設	1	20.0%



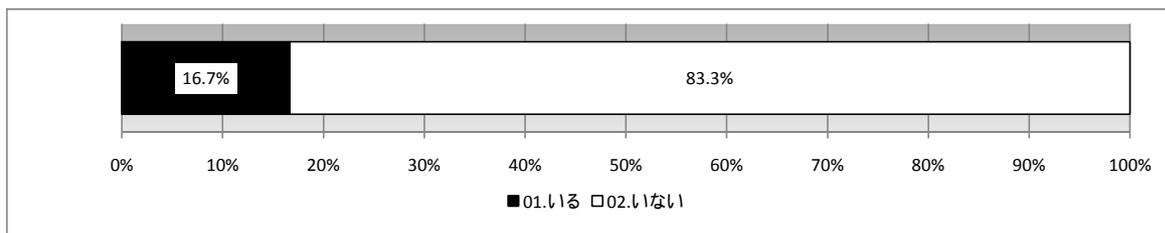
問5 山地災害危険地区位置図の掲出等状況について
 ・本庁舎に掲出又は備え付けしていますか
 (周知を行った6市町村のみ解答)

01.いる	3	50.0%
02.いない	3	50.0%



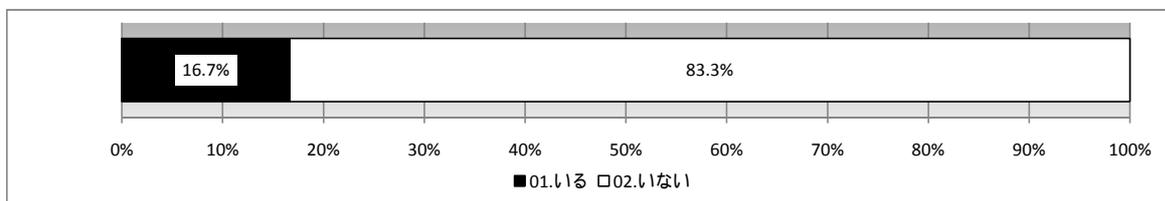
・支所に掲出又は備え付けしていますか
 (周知を行った6市町村のみ解答)

01.いる	1	16.7%
02.いない	5	83.3%



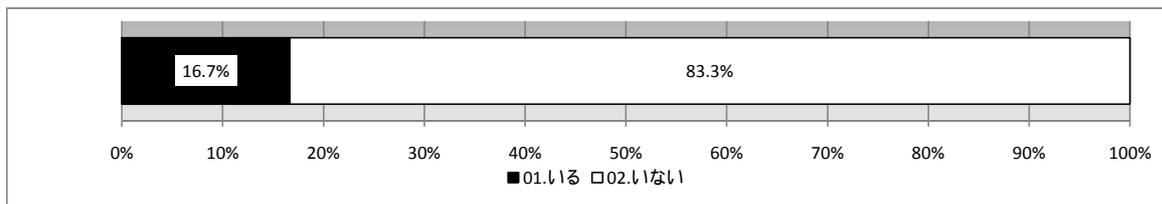
・公民館や避難所に掲出又は備え付けしていますか
 (周知を行った6市町村のみ解答)

01.いる	1	16.7%
02.いない	5	83.3%



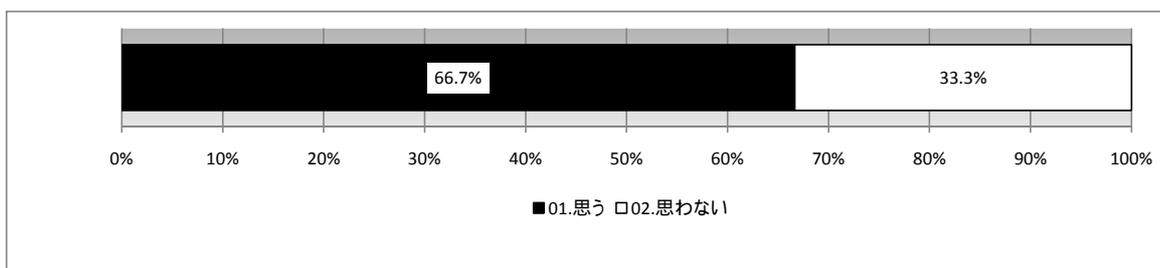
・市町村のホームページに掲載しているか又はリンク付けをしていますか
 (周知を行った6市町村のみ解答)

01.いる	1	16.7%
02.いない	5	83.3%



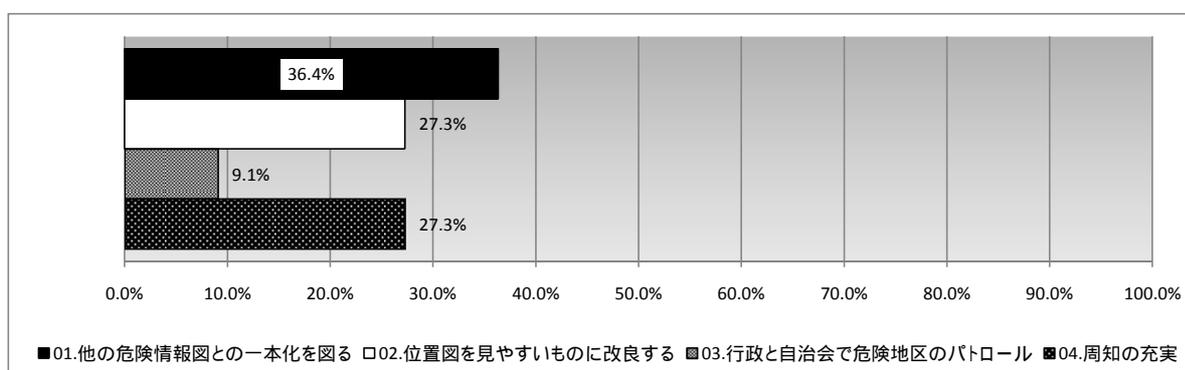
問6 山地災害危険地区位置図は、住民に活用されていると思いますか。
 (周知を行った6市町村のみ解答)

01.いる	4	66.7%
02.いない	2	33.3%



問7 危険箇所等が記載された図面として現在ある山地災害危険地区位置図について、どうすれば住民が活用できるものになると考えますか。(自由記入)

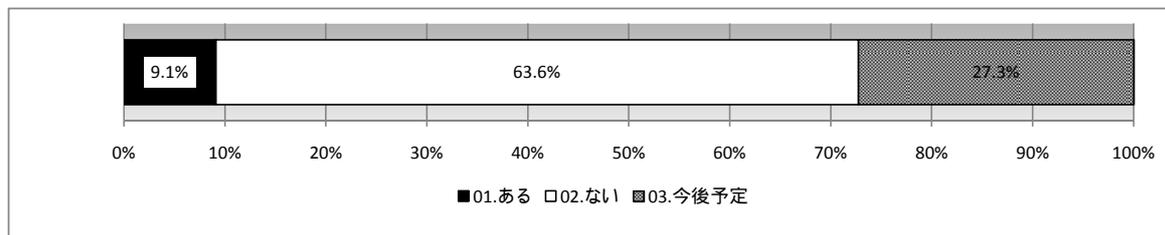
01.他の危険情報図との一本化を図る	4	36.4%
02.位置図を見やすいものに改良する	3	27.3%
03.行政と自治会で危険地区のパトロール	1	9.1%
04.周知の充実	3	27.3%



問8 山地災害危険地区位置図を住民の方々に周知するため市町村独自で取組みをされていることがありますか。また、今後取組みを行う予定はありますか。

01.ある	1	9.1%
02.現在の取組みはなく、今後の取組み予定もない	7	63.6%
03.今は取組んでいないが、今後取組む予定	3	27.3%

(「ある」と回答した市町村の取組み内容:公民館等への補充)

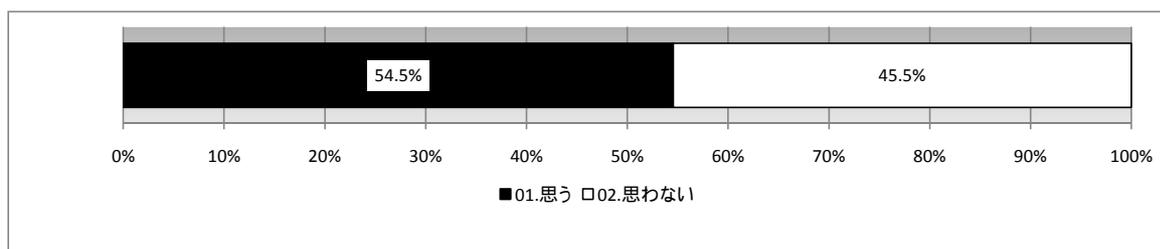


問9 山地災害危険地区位置図には、現在、注意すべき前兆現象や避難時の注意事項等が記載されていますが、その他に追加したほうが良い事項はありますか。(自由記入)

・前兆現象を発見した時の対応、及び連絡先
・危険地区と避難場所の確認等、地域住民への啓発文
・他人事ではないことを明示する必要がある。
・予防や事前にできることを記載して あるとよい

「山地災害防止キャンペーン」の活動は、住民への山地災害防止の意識付けとして有効であると思いますか。

01.思う	6	54.5%
02.思わない	5	45.5%



近年、各地で局所的な集中豪雨が多発していますが、その対応について、行政としてどのように対処すべきか、また、住民にお願いしたいことはありますか。

行政としてどのように対処すべきと考えますか

・詳細な情報収集及びその情報について地域住民への適時 適切な周知活動の強化
・災害に備え地元、消防団、自主防災会とともに警戒体制を万全に行う
・考えられない豪雨が発生することから、今までにない避難時期、避難方法、経路等検討が必要である
・自主避難及び避難勧告による危険回避を重点に考えている
・現場担当課の人員を増員する
・正確な情報収集及び、災害発生時の迅速かつ的確な現場対応

住民にお願いしたいことはなんですか

・個人の自助意識と地域の共助意識の醸成
・危険を感じたら、避難して欲しい
・行政の対応が行き届かない場合が多いため、自己防衛の意識を持っていただきたい
・前兆現象があれば早めに避難してほしい
・必要に応じ自主避難をお願いする
・避難所の開設に協力をお願いする
・市民ひとりひとりの危機管理意識の向上
・ご自身の山林が山地災害危険地区に該当する場合は自覚を持っていただき、治山事業を行う場合は積極的に協力していただく

山地災害の危険箇所を住民がより深く理解するためにはどのような方法が良いと考えますか。

・定期的な広報活動(パンフレット配布)の充実
・住民とのワークショップ開催
・地元説明会を定期的を開催する
・現地に危険箇所である旨の看板等を設置する
・広報等で山地災害危険箇所の避難対応について記載
・各自治会で防災について話し合う
・現地踏査は困難なゆえ、現地・航空写真、ハザードマップ等位置図に落とし周知する方法しかないと思う
・身近な地図を使い、身近な災害をPRし、災害は身近で起こることに関心を持たせる必要がある
・危険箇所の周知がなされていても、現実的には家を手放すわけに行かないので、行政、地域との連携による予防措置が必要と考えます。具体的には、土砂止め、谷止め等の施行を実施していく
・砂防と治山という色付けは、市民には理解しづらい。例えば「危険」というキーワードで統一した示し方ができると理解しやすくなるのではないかと
・毎年同じような内容を説明しても住民の方は受け入れにくいので、工夫が必要となる
・箇所ごとに住民を集めて現場を見せよう